



注意
1

28.10.191800c
南スーⁿダン派遣施設隊

南スーⁿダン派遣施設隊 日々報告

第1739号

閲覧は関係者限定

用済み後破棄

報告項目

1 本文（要約）

- (1) 情勢
- (2) 本日の活動成果
- (3) 明日の活動予定

2 別紙類（細部活動状況）

- (1) 本日の成果
 - 活動概要
- (2) 明日の活動
 - ア 活動に及ぼす影響
 - (ア) 情勢
 - (イ) 基盤上（兵站・衛生・人事）
 - (ウ) 総括（評価）
 - イ 活動命令
 - (ア) 施設活動等実施に関する行動命令（方針・指導要領・各部隊の任務）
 - (イ) 視察・来隊予定
 - (ウ) 隊長・副隊長・CSMの行動予定

3 じ後の予定

4 情報共有事項

5 参考資料

- (1) 気象
- (2) 暫定政府樹立までの主要結節
- (3) 予想シナリオ（状況推移）と日本隊に及ぼす影響
- (4) 部隊配置状況
- (5) タスク現況
- (6) 警備の態勢

1 本文（要約）

1 情勢

(1) 全域

ア 和平合意関連

和平合意は、キール大統領が9月30日に地域保護部隊に関する国連への協力を再度示したことや、JMECによる全体会議により、今後進展があるものと思料

一方、南スーダン国内外において両勢力の内部分裂又は離反・統合の動きが確認されるとともに、マシャル第1副大統領派がキール政権に対する抵抗を示すとともにジュバ帰還への意思を示したことから、SPLA-iO指導部の分裂、SPLAに統合されていたSPLA-iOの一部離反、国内外へのマシャル氏の影響力の趨勢について注視が必要

北部のリーア及び南部においてSPLAとマシャル派SPLA-iOの戦闘が継続、リーア近郊においては弾薬の補給等の活動が確認されるとともに、南部のイエイ周辺でも、ジュバ衝突事案以降、戦闘が継続しており、多数の避難民が発生し近隣の村等に避難していることから報復及び治安の悪化は継続するものと思料され、予断を許さない状況が継続

イ その他の情報資料

キール大統領は地域保護部隊の展開に前向きな姿勢を見せ始めているものの、市民団体が地域保護部隊の派遣に関して反対を表明しており、対UN感情の変化には注視が必要

また、北バハル・アル・ガザル地方において、ディンカ族内の反エクアトリアン感情が増大しており、キール大統領が抑制を呼び掛けているものの、その動向には注視が必要

加えて、南アフリカ政府も和平合意への関与を示していることから、今後の政府間の動向にも注視が必要（併せて、プロパガンダにも注意）

(2) ジュバ市外

ジュバ郊外、特に、イエイ及びカジョケジでの小規模なSPLAとマシャル派SPLA-iOの戦闘及び東エクアトリア一帯での武装集団による車両への襲撃事案が継続、また、[REDACTED]が発生しており、ジュバ南部への移動には危険が伴う可能性

加えて、マシャル氏のキール政権への抵抗宣言との関連性は確認できないものの、[REDACTED]が発生するとともに、中央エクアトリアの反ディンカ族感情が増大しており、事象の拡大には注視が必要

凡例 赤字：変化事項

(3) ジュバ市内

市内は平穏な状態に戻りつつあるものの、夜間に治安機関が強盗、不審者等へ警告射撃等を実施しており、夜間は流れ弾が発生しやすい状態が継続

また、南スーダン政府は安保理決議の受入を原則的に表明しているものの、引き続き SOFA違反の発生状況に注視

[REDACTED]では、當統的に射撃が確認されており、[REDACTED]や、
[REDACTED]、逐次進展が見られるものの、[REDACTED]、不安定な状態にあり引き続
き些細な変化に注意が必要

また、IDPとUNPOL等との小競合いにおいて[REDACTED]ことから、IDP内
での対UNMISS感情の変化には注視が必要

加えて、キール大統領の死亡説やマロン参謀総長の解任説が流れる等、市民の不安が煽られるような噂が流れたこともあり、市民感情の変化には注意が必要（流布源は不明であるが、一時的に市内の一部が緊張状態になったことから、今後の政府の動向に注意）

(4) ウガンダ

2016年2月の大統領選及び5月の野党党首の収監以降は、大規模な暴動等は首都カンパラにおいては確認されていないものの、7月中旬の野党党首の出所以降、野党党首支持者と警察との間で小規模な衝突が首都カンパラにおいても発生しており、集会等の実施場所周辺では注意が必要

また、治安はアフリカの中では比較的良いものの、強盗、窃盗等の一般犯罪の発生が確認されており、夜間の単独外出や昼間でもスラム等への立ち入りは危険を伴う

(5) 活動に及ぼす影響

宿営地においては、夜間の周辺での射撃による流れ弾には注意が必要

また、ジュバ市内においてはハラスマント及びSPLAによる検問周辺での流れ弾、交通事故への巻き込まれには注意が必要

なお、UNハウス周辺においては射撃及び銃を携行し徒步で移動するSPLA兵士が確認されていることから近傍での活動には警戒が必要

3 本日の活動成果

(1) 方針

隊は、急な情勢変化に対応しつつ、文民保護に資する活動としてUNトンピン地区内給水活動を実施するとともに、人道支援実施のための環境作りとして、UNハウス地区西側外壁構築、UNハウス西側ケーブル埋設、弾薬庫増設及びUNトンピン地区退避壕構築、英軍LOプレハブ構築を実施する。

この際、ジュバ市内におけるハラスマント及びジュバ西部・南部の戦闘に注視するとともに、UNハウス地区活動における流れ弾に留意して活動を実施する。

(2) 指導要領

ア 文民保護に資する活動

給水活動

本部付隊をもって、UNトンピン地区における給水活動（成果：12t）

イ 人道支援実施のための環境作り等

(1) UNハウス地区西側外壁構築

第2施設小隊をもって、UNハウス地区における西側外壁構築

(2) UNハウス西側ケーブル埋設

第2施設小隊をもって、UNハウス地区西側外壁沿いにおけるケーブル埋設

(3) UNハウス地区弾薬庫増設

第3施設小隊をもって、UNハウス地区における弾薬庫増設

(4) 英軍LOプレハブ構築

第1施設小隊をもって、UNトンピン地区におけるプレハブ構築

(5) UNトンピン地区退避壕構築

施設器材小隊をもって、UNトンピン地区における退避壕構築

ウ その他の活動

(ア) 情報活動

- a 情報班をもって、UNトンピン地区及びジュバ市内における情報収集活動
- b 隊本部をもって、ジュバ市内及び[REDACTED]における経路偵察

(イ) 業務調整

隊本部をもって、UNトンピン地区、UNハウス地区及びジュバ市内における業務調整

(ウ) 宿营地内活動

本部付隊をもって、宿营地管理業務

(エ) 教育訓練等

なし

(オ) 民生協力

なし

(カ) 隊長による、UNトンピン地区における工兵課への定期報告

(キ) 副隊長による、UNトンピン地区内における施設活動現場指導

(ク) 衛生班等による、UNトンピン地区内カンボジアLv. 2病院における交流会

(ケ) 隊本部による、ジュバ市内における現地調達業務

エ 表敬等

なし

オ 各種行事

なし

カ 国際機関等連携案件

なし

3 明日の活動予定

(1) 方針

隊は、急な情勢変化に対応しつつ、文民保護に資する活動としてUNハウス地区及びUNトンピン地区内給水活動を実施するとともに、人道支援実施のための環境作りとして、UNハウス地区西側外壁構築・ケーブル埋設、弾薬庫増設及びUNトンピン地区退避壕構築、英軍LOプレハブ構築を実施する。

この際、ジュバ市内におけるハラスマント及びジュバ西部・南部の戦闘に注視するとともに、UNハウス地区における流れ弾に留意して活動を実施する。

(2) 指導要領

ア 文民保護に資する活動

給水活動

本部付隊をもって、UNトンピン地区及びUNハウス地区における給水活動

イ 人道支援実施のための環境作り等

(1) UNハウス地区西側外壁構築

第2施設小隊をもって、UNハウス地区における西側外壁構築

(2) UNハウス西側ケーブル埋設

第2施設小隊をもって、UNハウス地区西側外壁沿いにおけるケーブル埋設

(3) UNハウス地区弾薬庫増設

第3施設小隊をもって、UNハウス地区における弾薬庫増設

(4) 英軍LOプレハブ構築

第1施設小隊をもって、UNトンピン地区におけるプレハブ構築

(5) UNトンピン地区退避壕構築

施設器材小隊をもって、UNトンピン地区における退避壕構築

ウ その他の活動

(ア) 情報活動

- a 情報班をもって、UNトンピン地区及びジュバ市内における情報収集活動
- b 隊本部をもって、ジュバ市内及び [] における経路偵察

(イ) 業務調整

隊本部をもって、UNトンピン地区及びUNハウス地区における業務調整

(ウ) 宿营地内活動

本部付隊をもって、宿营地管理業務

(エ) 教育訓練等

なし

(オ) 民生協力

なし

(カ) 隊長による、UNハウス地区における [] への参加

(キ) 隊本部等による、UNハウス地区における通信関連業務

(ク) 隊本部による、UNトンピン地区における井戸業者の送迎

(ケ) 隊本部による、ジュバ市内における現地調達業務

(コ) 隊本部等による、ジュバ空港への国連休暇取得者の送迎

(サ) 隊本部等による、ジュバ市内における市内研修

エ 表敬等

なし

オ 各種行事

なし

カ 国際機関等連携案件

なし

1 本日の成果

別紙第1 「活動概要」
別紙第2 「活動成果」

活動概要 (UNトンピン地区) (1/7)

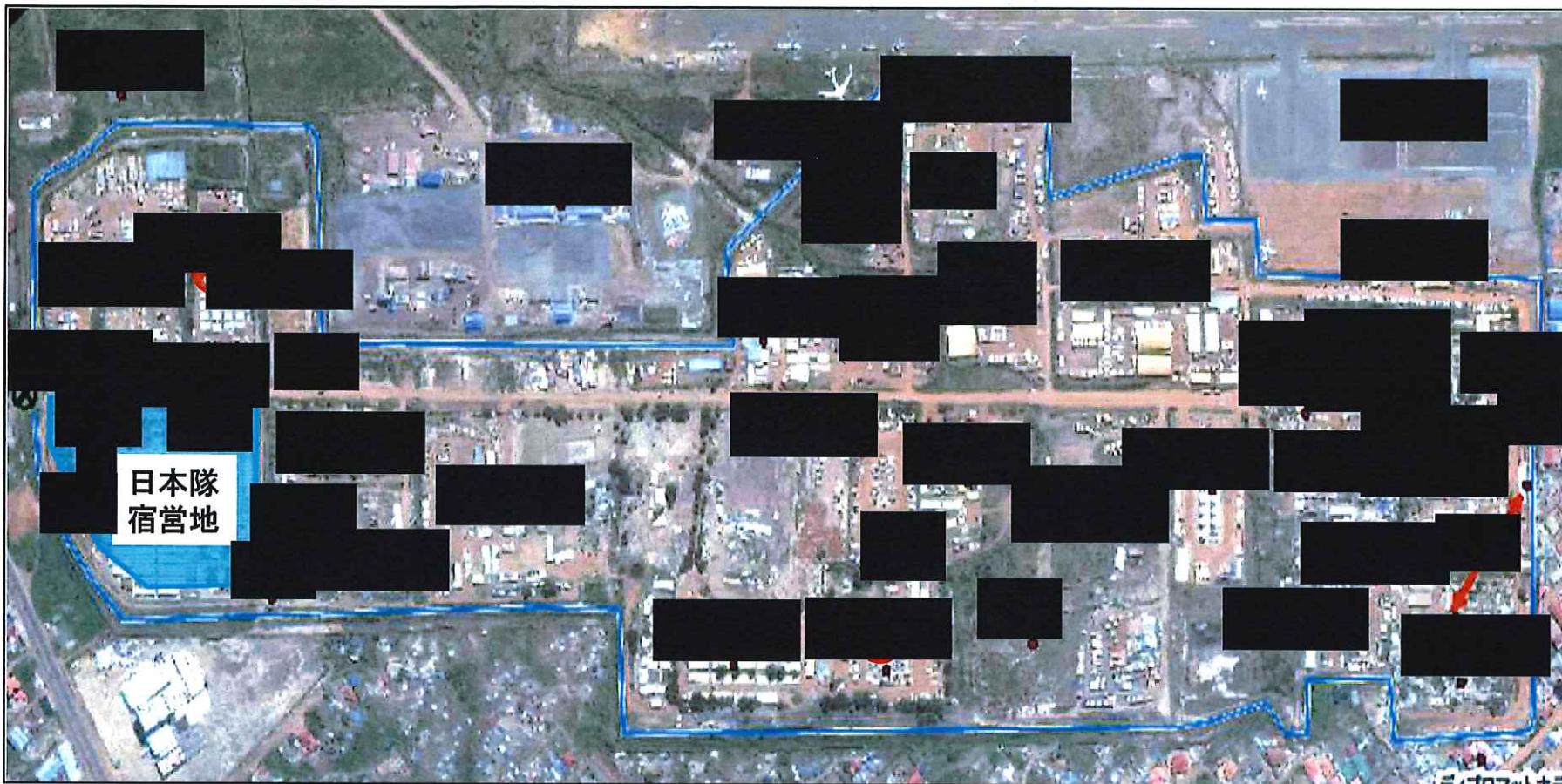
別紙第1-1

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員	車両	警備
①	施設	UNトンピン地区退避壕構築	器材小隊	0800~1600	UNスタンド南側	24	高機×1、大型×1 油圧×1、特大型×1	
②		英軍LOプレハブ構築	1小隊	0800~1600	エチオピア歩兵大隊北側	19	高機×2、大型×4 ROV×1、資材運搬車×1	
③	その他	給水	補給班	0800~1000	トランジット エチオピア歩兵大隊	2	給水車×1	
④	その他	給水	補給班	1000~1200	ネパールFPU	2	給水車×1	
⑤		業者迎え(井戸) (未実施)	隊本部 (S-4)	0800~1700	メインゲート	2	小型×1	
⑥		業務調整(施設)	隊本部 (S-3)	0800~1600	工兵課	5	小型×1	
⑦		業務調整(輸送)	隊本部 (S-4)	0900~1630	MOVCON	3	小型×1	
⑧		カンボジア病院交流会	隊本部 (S-3) (広報) 衛生班	1400~1600	カンボジア病院	5	Amb×1	
⑨		広報活動	隊本部 (広報)	0740~1600	UNトンピン内	2	小型×1	
⑩		情報収集	情報班		UNトンピン内			
⑪		定期工兵課報告	隊本部 (S-3) 警護班	1340~1500	工兵課	4	ランクル×1	
⑫		副隊長現場指導	隊本部 (S-3) 警護班	0830~1000	UNトンピン内			

凡例 UNタスク

活動概要（UNトンピン地区）（2／7）

別紙第1-2



9	広報活動
10	情報収集
12	副隊長現場指導

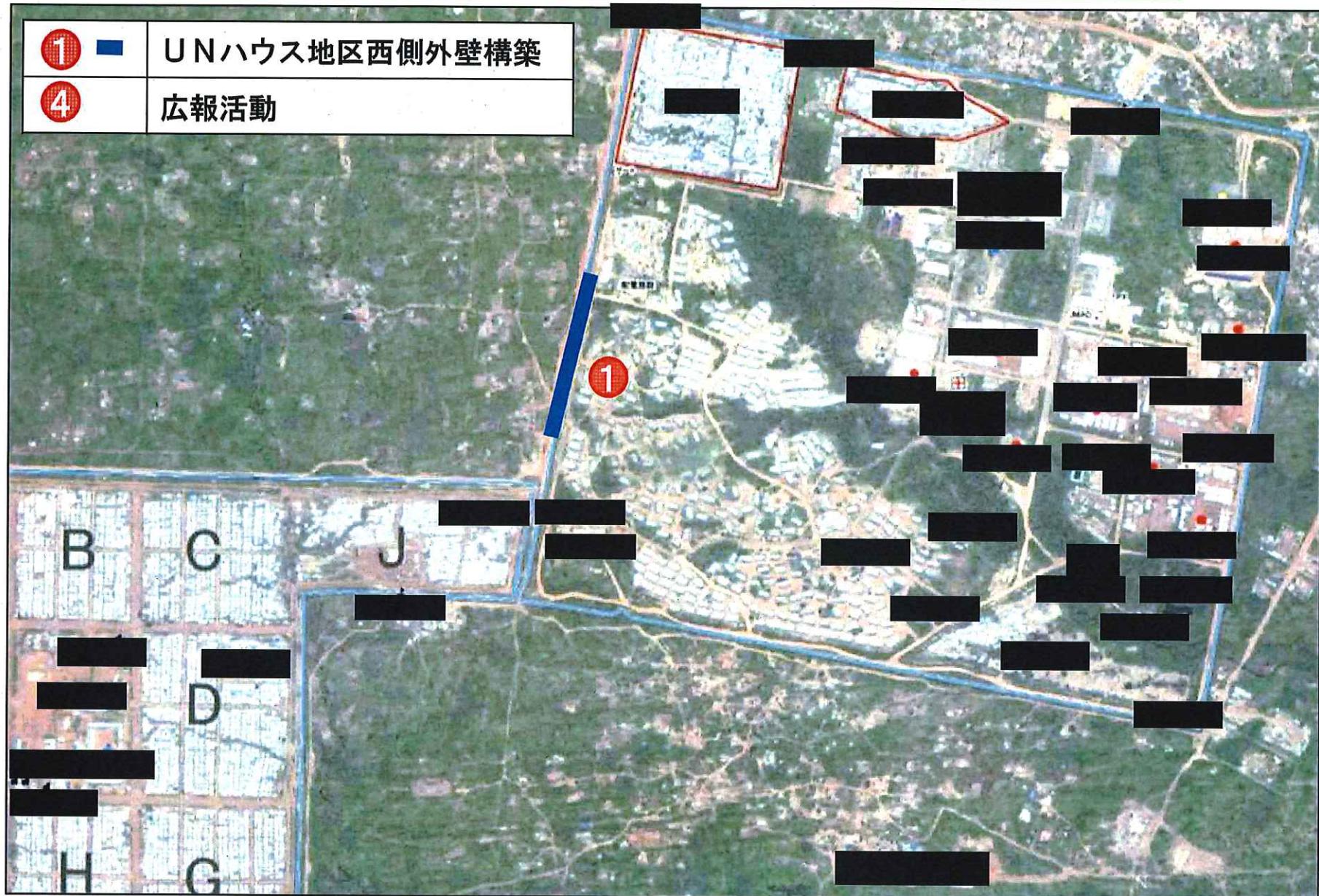
活動概要（UNハウス）（3／7）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員	車両	警備
①	施設	UNハウス地区西側外壁構築	2小隊 整備班	0730～ 1630	UNハウス西側	26	高機×3、大型×3 ※水、食糧1日分携行 ※ハウス1530前進開始	
②		UNハウス地区西側 ケーブル埋設						
③	その他	UNハウス地区弾薬庫増設	3小隊	0731～ 1630	弾薬庫	22	高機×2、大型×2 特大型×1 ※水、食糧1日分携行 ※ハウス1530前進開始	
④		業務調整（施設）	隊本部 (S-3)	0732～ 1300	UNハウス	4	高機×1	
		広報活動	隊本部 (広報) (S-1)	0732～ 1630	UNハウス	4	高機×1	

凡例 UNタスク

活動概要（UNハウス）（4／7）

別紙第1-4



活動概要（ジュバ市内）（5／7）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員	車両	警備
①	情 報	経路偵察	隊本部 (S-2)		ジュバ市内			
②		情報収集	情報班		ジュバ市内			
③	その他の活動	現地調達・市場調査	隊本部 (S-4)	1330～ 1600	ジュバ市内	2	高機×1	
④		重車両輸送支援	警務班	0722～ 1100	ビルファムロード	2	高機×1	
⑤		業務調整	隊本部 (S-3) (広報)	1330～ 1630	ユニバーサル	3	高機×1	

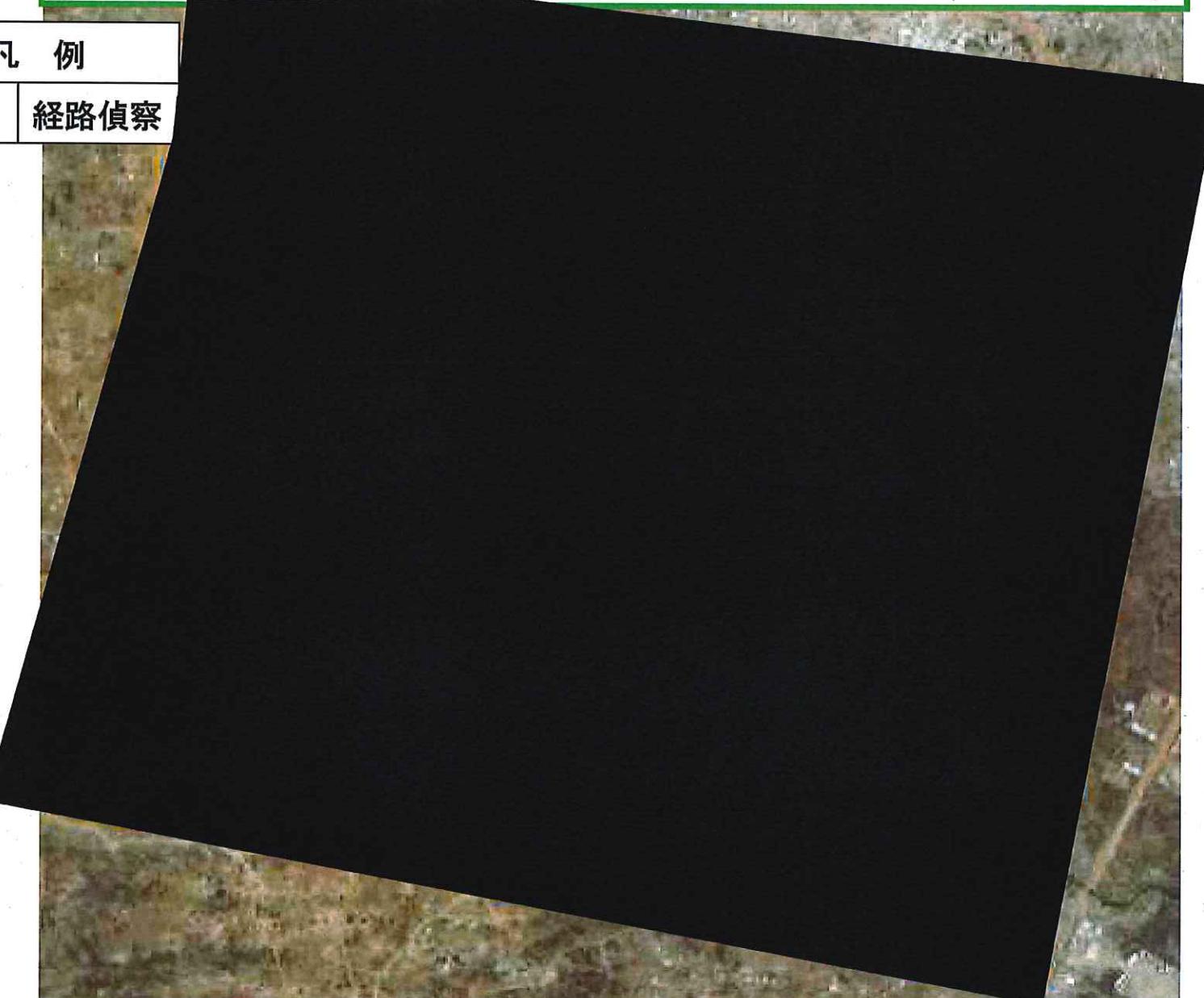
活動概要（ジュバ市内）（6／7）



経路偵察(UNハウス) (7/7)

凡 例

— 経路偵察



本日の活動成果

UNトンピン地区退避壕構築

活動中
施設器材小隊【10.19 0900現在】



活動中
施設器材小隊【10.19 1130現在】



活動成果

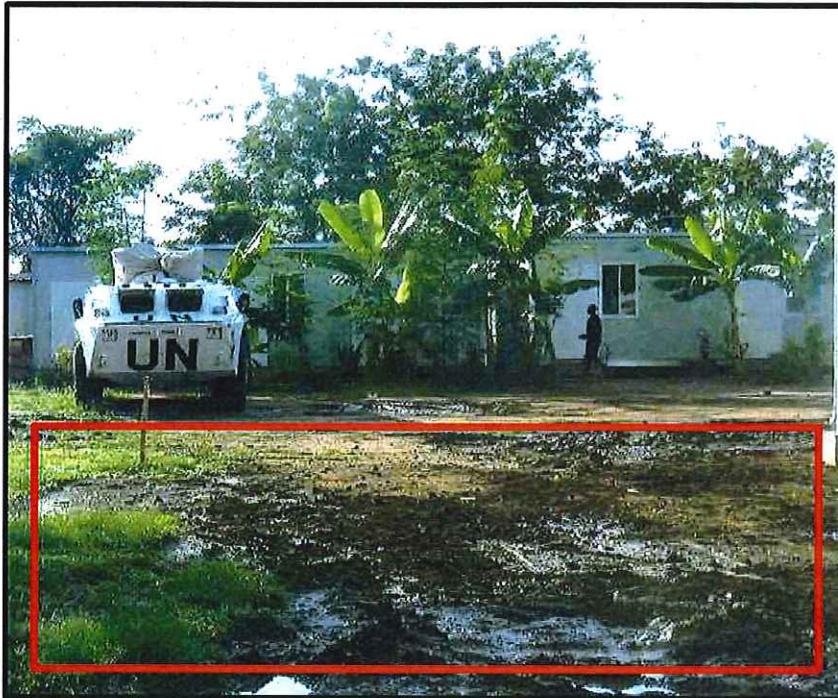
水道管溝の排水及び埋戻し

本日の活動成果

英軍L Oプレハブ構築

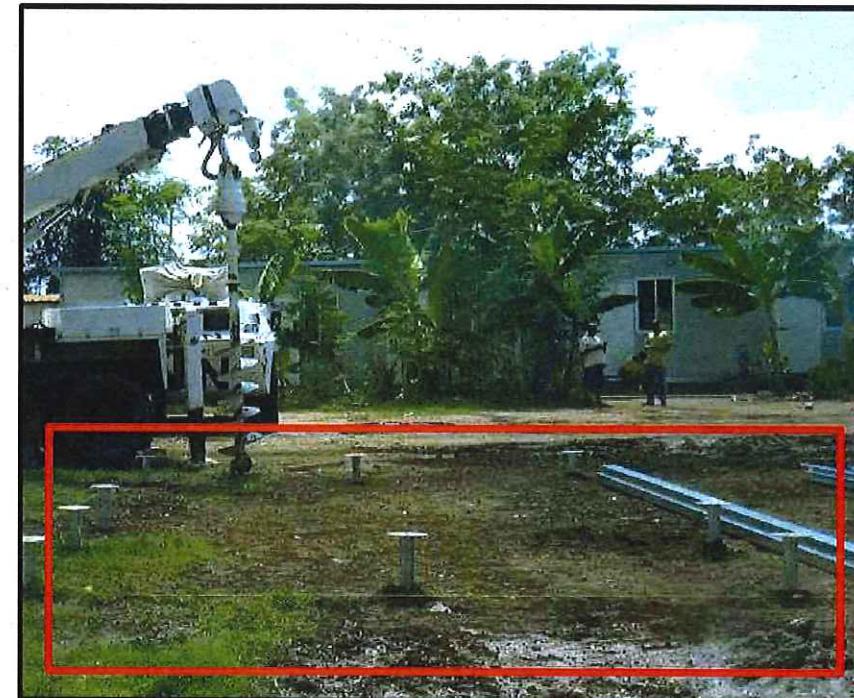
活動前

第1施設小隊【10.19 0900現在】



活動中

第1施設小隊【10.19 1200現在】



活動成果

増設に伴い、行程修正中

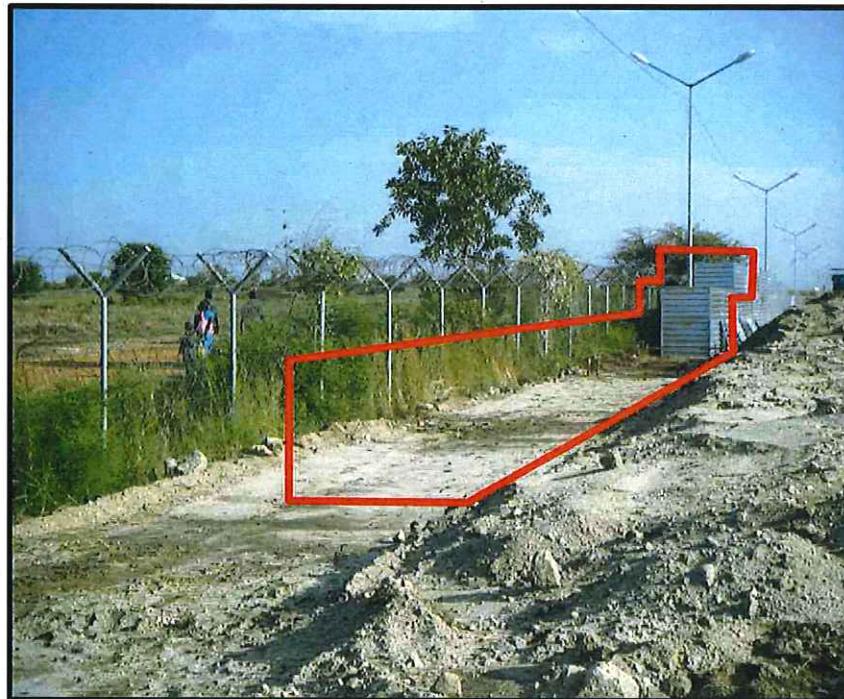
- 1 測量・経始
- 2 基礎工

本日の活動成果

UNハウス地区西側外壁構築

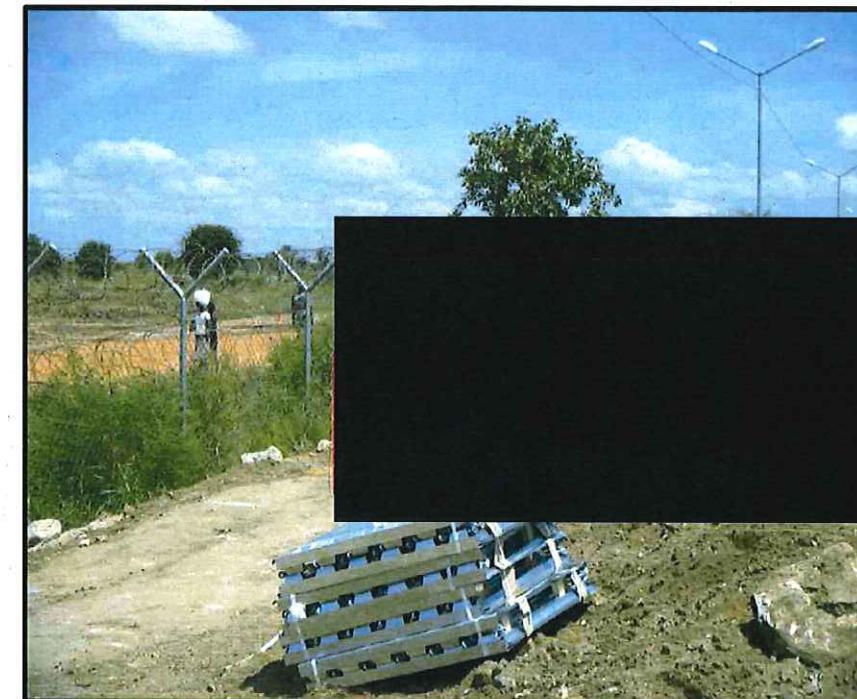
活動前

第2施設小隊【10.19 0900現在】



活動後

第2施設小隊【10.19 1100現在】



活動成果

進度
累計

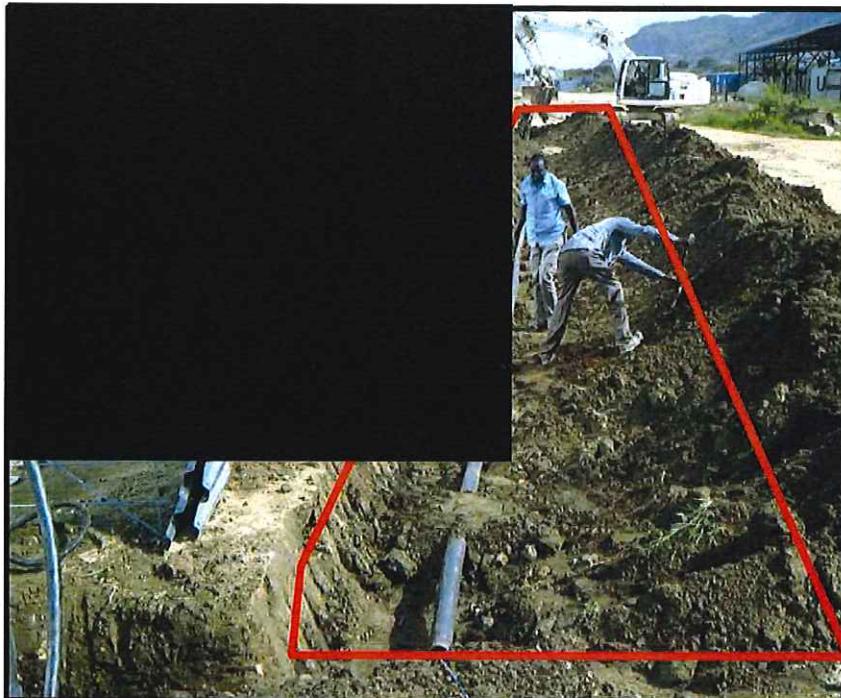
- ・整地作業
- ・ミフラム組立設置及び土入れ
- ・測量経始

本日の活動成果

UNハウス西側ケーブル埋設

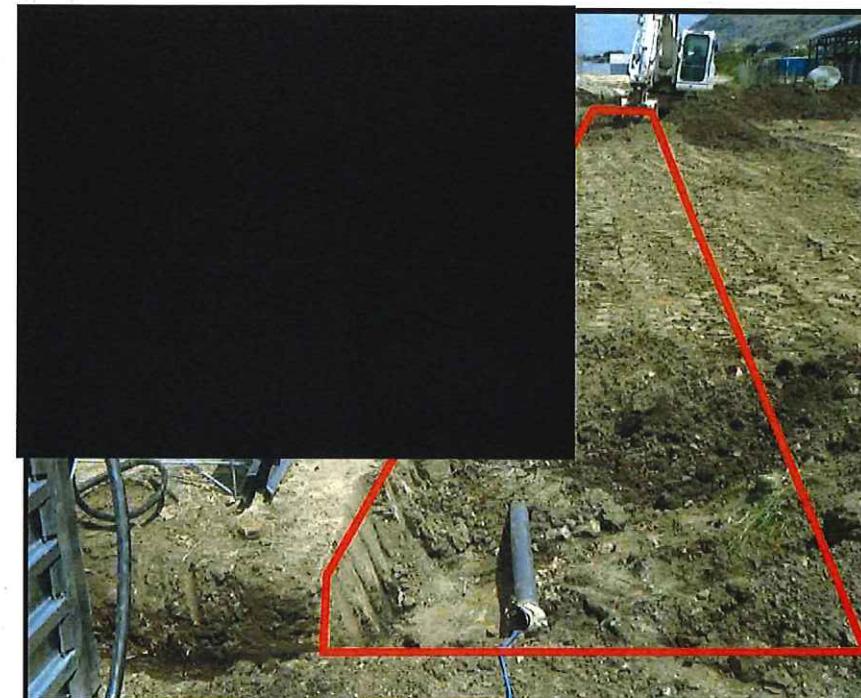
活動前

第2施設小隊【10.19 0900現在】



活動後

第2施設小隊【10.19 1300現在】



活動成果

作業進捗

- ・掘開作業
- ・埋め戻し作業

本日の活動成果

UNハウス地区弾薬庫増設

活動前

第3施設小隊【10.19 0900現在】



活動後

第3施設小隊【10.19 1400現在】



活動成果

進捗
累計

コンクリート打設

2 明日の活動

(1) 活動に及ぼす影響

別紙第3 「情勢」

別紙第4 「装備品等現況」

別紙第5 「患者受診状況」

別紙第6 「人員現況」

別紙第7 「総括（評価）」

(2) 活動命令

別紙第8 「施設活動等実施に関する行動命令」

別紙第9 「視察・来隊予定」

別紙第10 「隊長・副隊長・CSMの行動予定」

凡例 青字：新規
赤字：評価

情勢(1/9) / Situation

1 南スーダン全域の情勢

(1) 和平合意履行に関する情報

- 国連事務総長報道官はマラカル及びベンティウ周辺（10月第3週目の週末に衝突が発生）でのSPLM及びSPLM-IIOによる停戦の完全履行を要請した模様
- 17日、国連平和維持活動担当事務次長が、UNMISSが直面している問題及び南スーダンにおける地域保護部隊（RPF）の展開に関する評価について国連安全保障委員会に報告した。同協議の詳細は現在のところ公表されていない模様

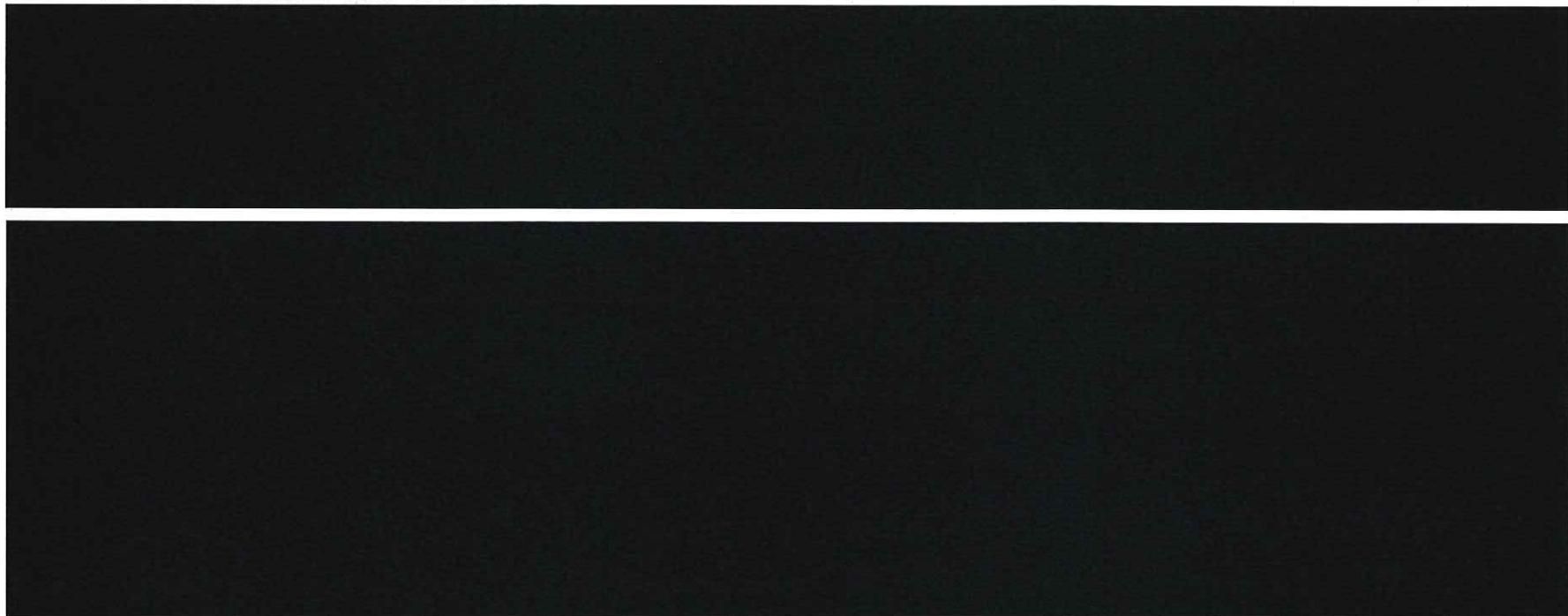
(18日 EyeRadio "UN urges parties to respect ceasefire")

→ 武器禁輸等の検討が開始される可能性もあり、南スーダン政府及び国連の報告に注視

凡例 青字：新規
赤字：評価

情勢(2/9) / Situation

(2) 和平合意不履行に関する情報

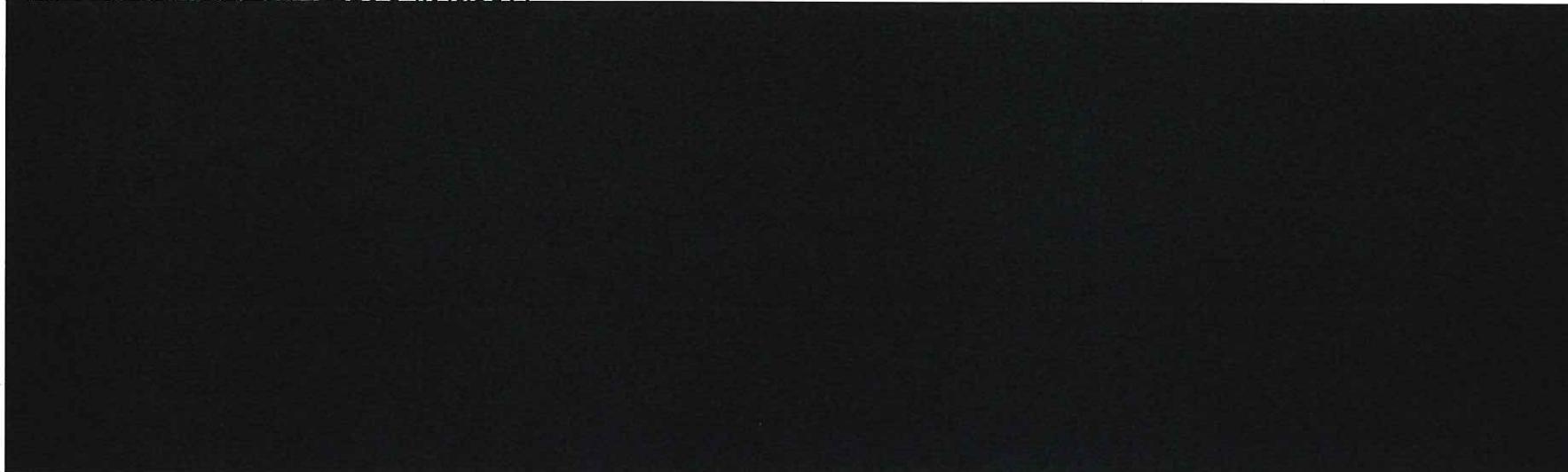


- マシャル氏が、BBCとのインタビューにおいて南スーダンへの帰還を表明した模様
(17日 Sudan Tribune "S. Sudan rebel leader vows to return home, despite conditions")
- マシャル氏は「（自身は、）南スーダン内の3地域（バハル・アル・ガザル、エクアトリア及び上ナイル）のどこにも住むことが可能であり、同地域は私の支配下である。私の勢力は、スーダン、エチオピア、ウガンダ、コンゴ民主共和国、ケニア及びコンゴとのほぼ全ての国境地域を支配下に置いている。」と発言した模様
(17日 Nyamilepedia "Machar's forces control Nearly Half of South Sudan")
→ マシャル氏の発言に同調するマシャル派 SPLA-IO 及びその他の反政府勢力の動向には注視が必要

凡例 青字：新規
赤字：評価

情勢(3/9) / Situation

(3) その他入手した主要な情報資料



■ キール大統領は、ディンカ族を標的としたエクアトリア地域での一連の殺人事件に関し、犠牲者の家族による報復を抑制するように州知事らに支持した模様

(18日 Sudan Tribune "President Kiir tells governors to control target killings")

→ 部族間の緊張を緩和させるための発言であると思料されるも、ディンカ族側の反応は不明であり、ディンカ長老議会（JCE）やユースの行動には注視が必要

■ 19日、ジュバ市内のフリーダムホールにおいて、SPLMの正式な政党としての登録のための式典が実施され、党首であるキール大統領と副党首であるイッガ副大統領が参加した模様

(19日 National Courier, [REDACTED])

情 勢 (4 / 9) / Situation

凡	例
	: 戰鬪
	: 活発化
	: 移動
青	: S P L A
赤	: SPLA-iO
黒	: 避難民

El Daein, East Darfur

■ 移動
青：SPLA
赤：SPLA-i0
黒：避難民

10/4~10/18(2週間分)の事象を記載



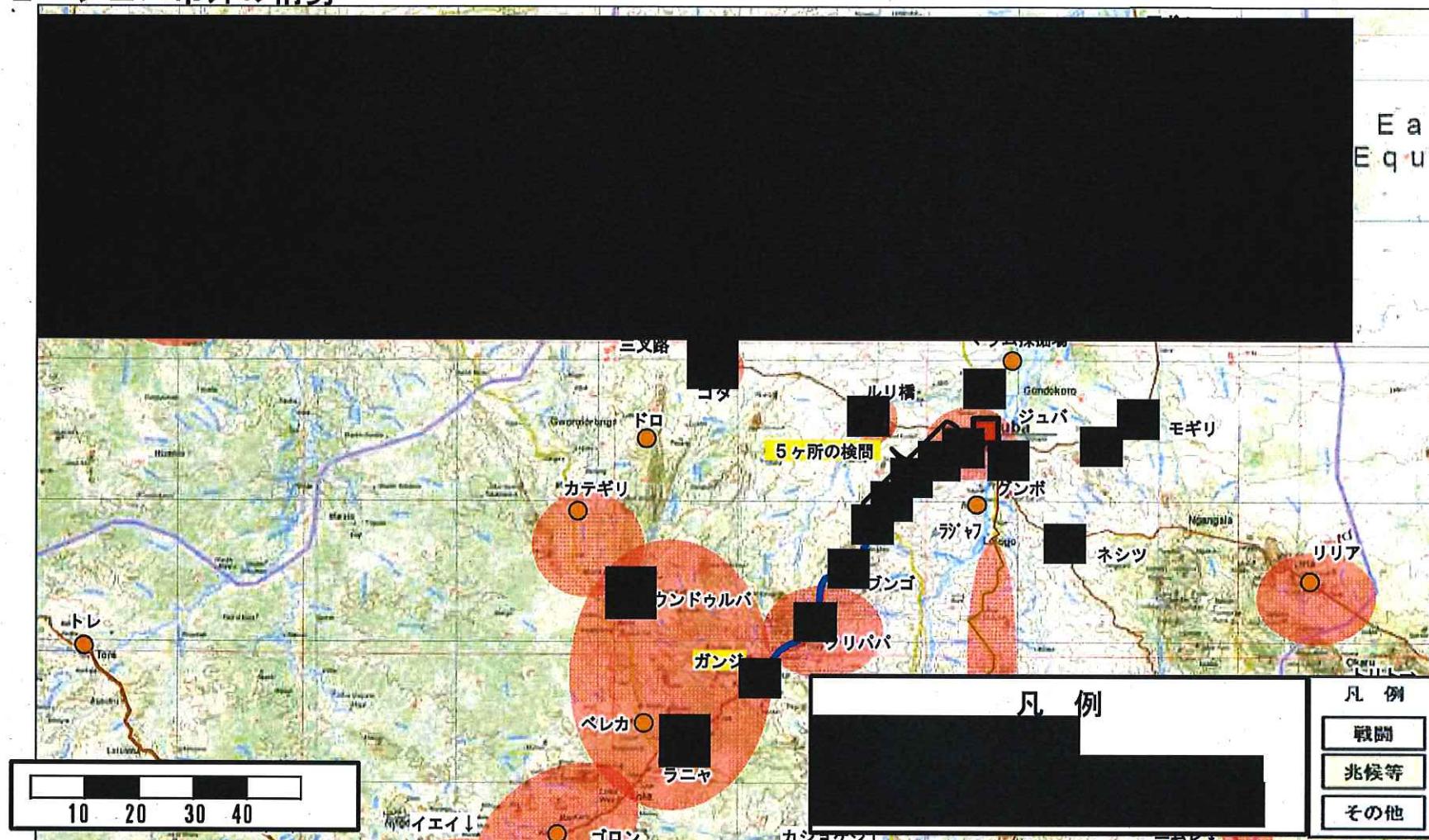
評価	和平合意	和平合意については、JMECによるワークショップが終了し、治安措置等について協議を行い、南スーダン政府は安保理決議において指示された全ての要求に取り組むことに合意し、JVMMも地域保護部隊の展開へ前向きな姿勢を示している事から、今後も逐次、協議が開催されるものと思料 北部及び南部において、SPLAとマシャル派SPLA-IOとの小規模な戦闘が継続しており、マシャル前第1副大統領のキール政権打倒のための武力抵抗の実施に関する発言に伴う、戦闘の拡大には注視が必要。また、南部では民間車両に対する襲撃が継続しており、ジュバ方向への物流に影響を及ぼす可能性があるため、注視が必要
	その他の事象	南部国境においては、難民が引き続き隣国へと流入するとともに、北部において国連による人道状況の調査も実施されていることから、文民保護に関するマンデートは今後も継続するものと思料。また、国連による10月中旬に予定される追加措置を前に、地域保護部隊に関する南スーダン政府側の対応に変化があり、これに伴う対UNMISS感情の変化には注視が必要

情勢(5/9) / Situation

27

別紙第3-5

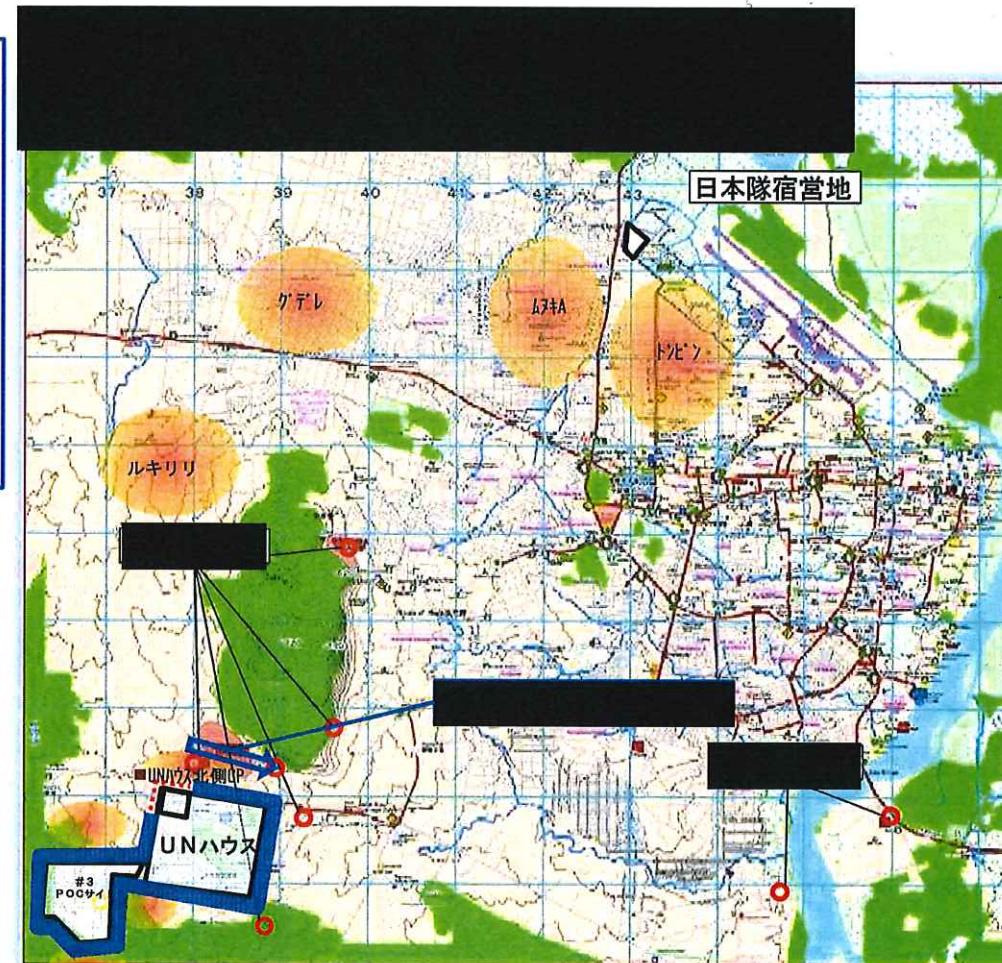
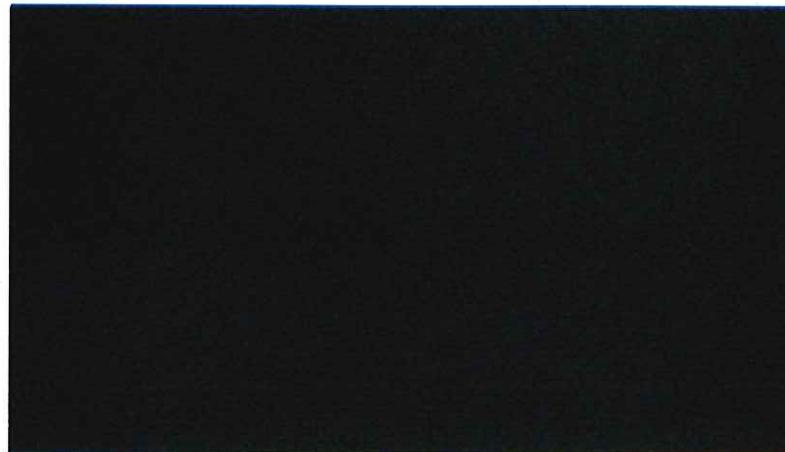
2 ジュバ市外の情勢



評価	ジュバ西部は一定の落ち着きを取り戻している模様、しかしながら郊外、特にイエイ～カジョケジー帯は、避難民のコンゴ民主共和国への流入、[REDACTED]等から周辺における戦闘は継続しているものと思料され、戦闘のジュバ方向への拡大及び物流への影響には注視が必要
----	--

情勢(6/9) / Situation

3-1 ジュバ市内の状況



評価

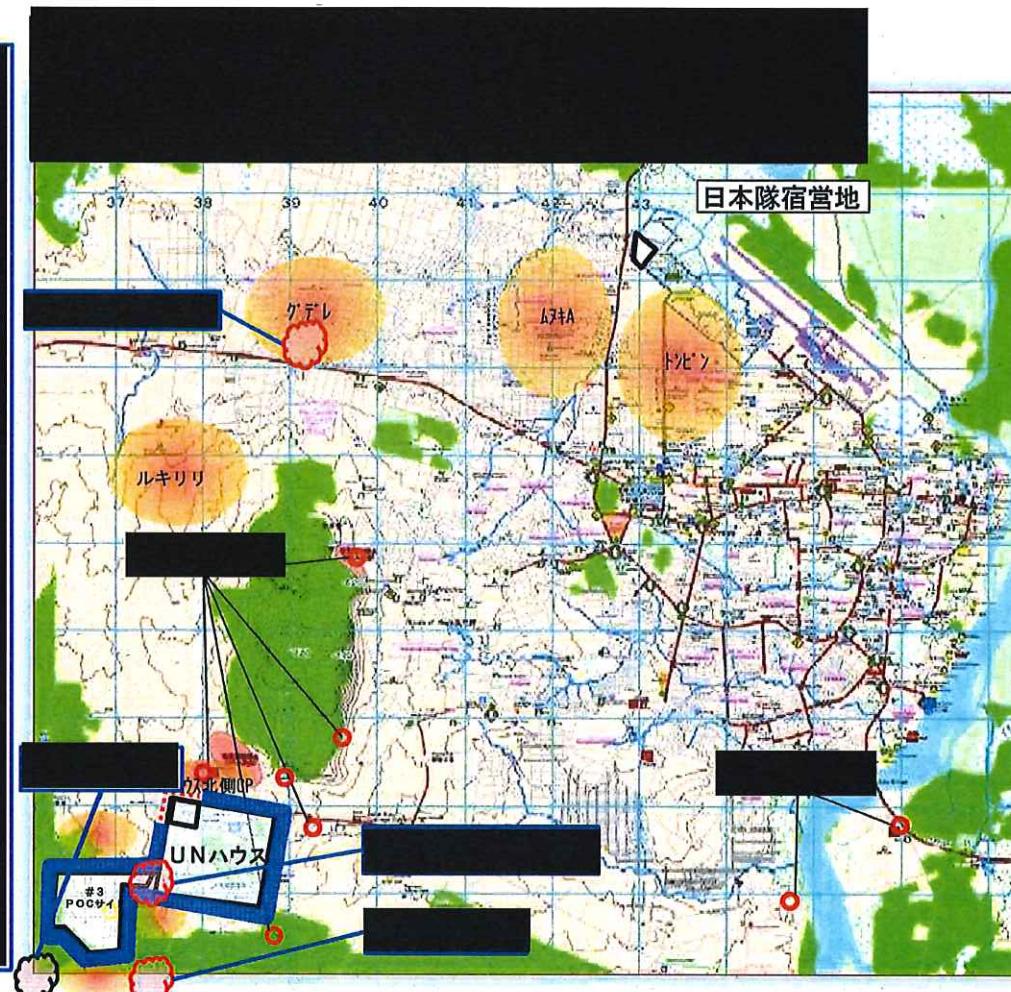
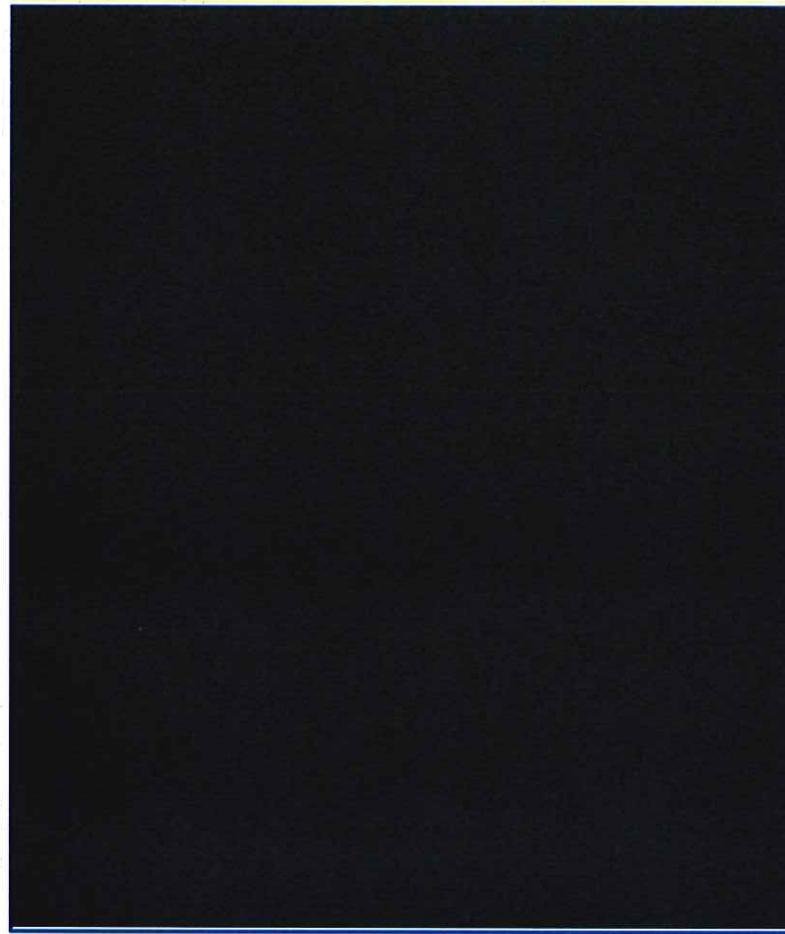
ジュバ市内は、一定の安定を取り戻しているものの、各種離反に関する報道、イエイ道正面の戦闘等から市民感情は敏感になっており、引き続き注視が必要。また、[REDACTED]では、常規的な射撃や、[REDACTED]が確認されており、非武装地域の設定合意に基づく作業が開始されたものの、各種活動時にはハラスマント、流れ弾及び巻き込まれに引き続き注意が必要。また、IDPの対UNMISS感情の変化にも注視が必要

情勢(7/9) / Situation

29

別紙第3-7

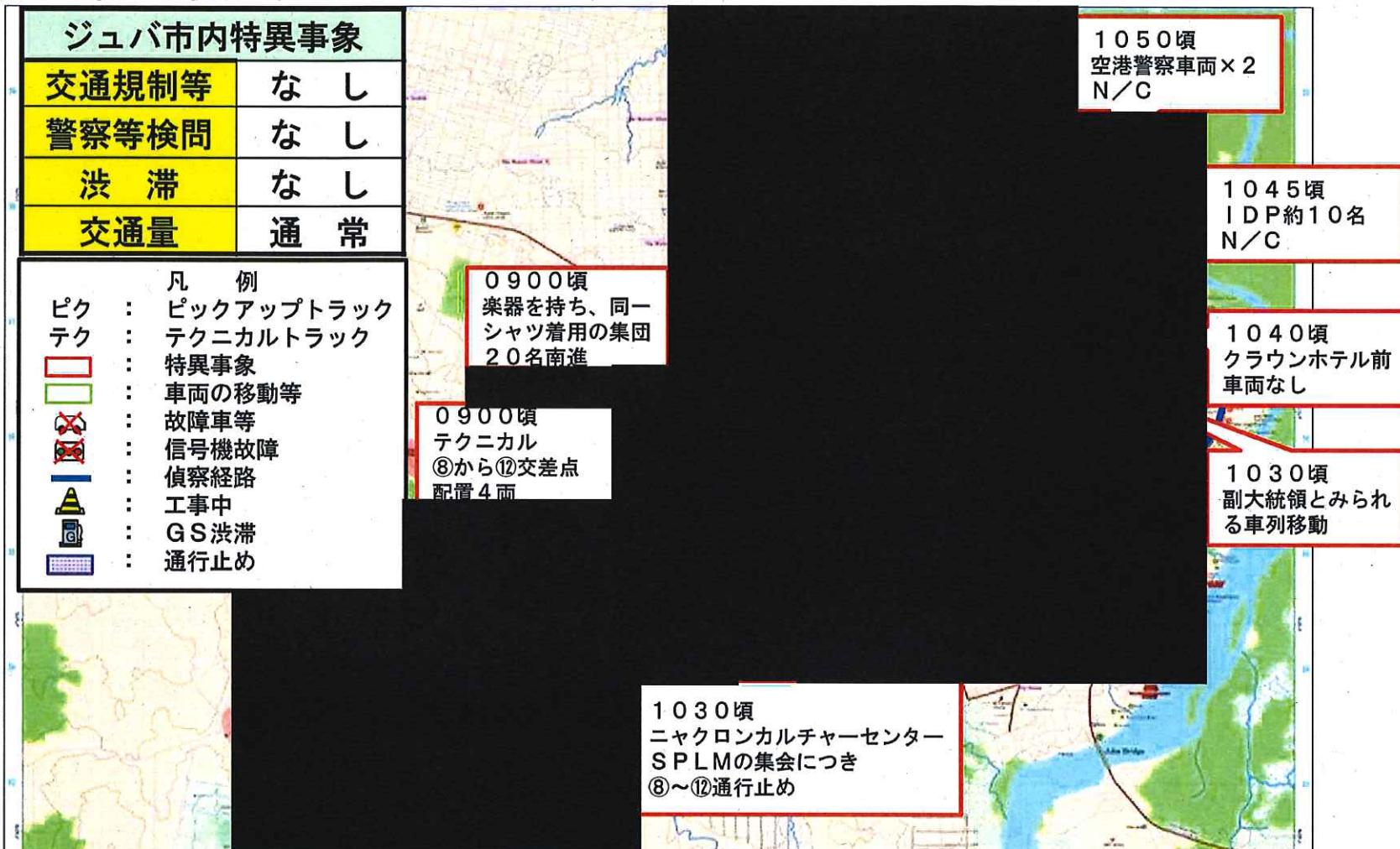
3-2 ジュバ市内の状況



評価	ジュバ市内は、一定の安定を取り戻しているものの、各種離反に関する報道、イエイ道正面の戦闘等から市民感情は敏感になっており、引き続き注視が必要。また、[REDACTED]では、常続的な射撃や、[REDACTED]が確認されており、非武装地域の設定合意に基づく作業が開始されたものの、各種活動時にはハラスマント、流れ弾及び巻き込まれに引き続き注意が必要。また、IDPの対UNMISS感情の変化にも注視が必要
----	---

情勢(8/9) / Situation

5 ジュバ市内の状況(0720~1100)



評価	市内は一部を除き、警備強化等の状況は見られなかったものの、 SPLMの集会の警備のためと思われるSPLA車両が、平素よりやや多く確認された。 クラウンホテル前では、車両は確認できず、JMEC全体会議の開催場所は不明 交通量及び市民の移動は通常通りであり、車両運行には引き続き注意が必要
----	--

情勢(9/9) / Situation

5 気象(0600i)

地 域	天 気	気 温		湿 度		降水量	備 考
		最 低	最 高	最 低	最 高		
ジュバ	晴れ	24°C	41°C	31%	70%	0mm	
カンパラ	晴れ一時雨	16°C	30°C	48%	96%	6mm	

主要装備品等現況／Equipment Status

別紙第4-1

10月19日1300c

区分	可動率	状況	処置
火器	100%	なし	
車両	100%	なし	
施設	100%	なし	
通信	100%	なし	
需品	100%	なし	
衛生	100%	なし	
その他		150KVA発電機×2 (逆浸透浄水装置用) オルタネータ不良	部品請求実施 整備完了まで予備の220KVA 発電機×1を使用

燃料・糧食等現況／Fuel & Ration Status

33

別紙第4-2

10月19日1300c

区分	品名	総数	取得	返納	保管
弾薬	9mm普通弾				
	5.56mm普通弾				
	5.56mmリンク				
	9mm普通弾				
	5.56mm普通弾				
	5.56mmリンク				
	計				
打ち殻	9mm打がら薬きょう				
	5.56mm打がら薬きょう				
	計				

燃料・糧食等現況/Fuel & Ration Status

糧食維持日数：74日

喫食者数：353名

10月19日1800c

区分	品名		取得	消費	現保有量	維持日数	備考(処置)
糧食等	個人糧食	戦闘糧食II型					
		市販型					
		アルファ米					
		UN非常用糧食					
	耐久品	米					
		副食パック					
	UN食材	生鮮					
		冷凍・耐久					
	現地調達	生鮮					
		冷凍					
	その他	加熱剤					
燃料	COE	UN軽油(発電機)					
	NOE	軽油(調達品)					
		灯油(調達品)					
		ガソリン(調達品)					
水	飲料水						
	海水淡水化装置(浄水)						

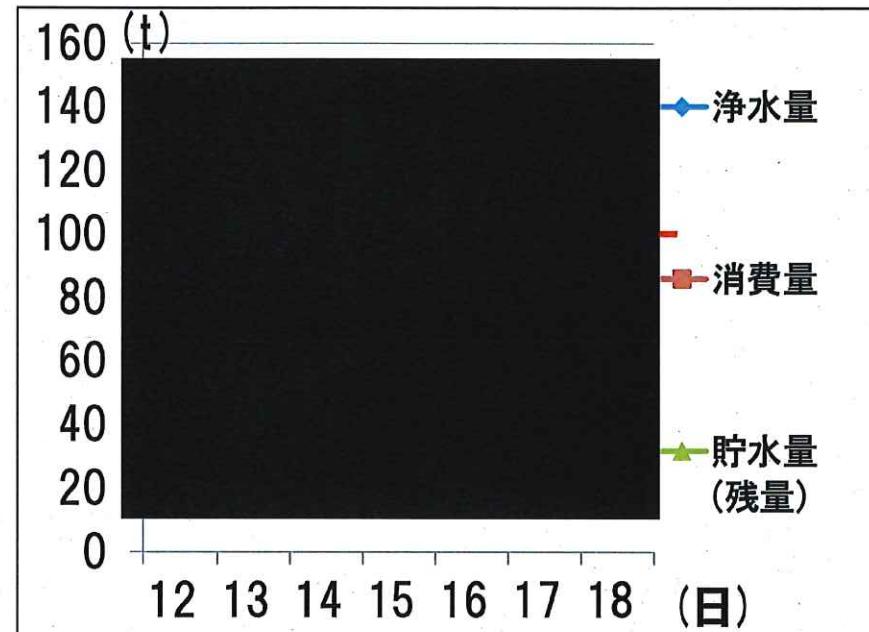
10月19日1300c

第10種補給品(水)の推移(1週間実績)

【H28.10】(10次要員)

凡例 — 消費量の目安ライン

曜日	日	浄水量	消費量	貯水量 (残量)
水	12			
木	13			
金	14			
土	15			
日	16			
月	17			
火	18			



他国供給先(前日実績)	供給量
UNハウス	
トランジット	4
ネパールFPU	
ネパール歩兵中隊	3
エチオピア大隊	
バングラ河川隊	5
インド隊	
合計	12

【評価】

○第4井戸の故障復旧後、取水量は安定傾向を保っている。
再度、砂の埋没により故障となる可能性があるため、第5井戸の早期着手により対応(工事期間10月19日から27日)

※ 貯水の危険水位:

(注)日々の消費量が[]を超える日が[]日連續で続いた場合、貯水量が減少する。井戸の故障状況によっては数日で危険水位を下回る可能性もある。その場合はシャワーや浴槽、洗濯の使用を制限する。

患者受診状況

受診患者計 8名

10月 18日 1800c
~10月 19日 1800c

所属等／Section	傷病者数	疾患名／Disease	備考
隊本部	4名		
本部付隊	2名		
警備小隊	2名		

凡例： (再) → 再 診

10月19日1800c

人員現況／Personnel Status

	場 所	総員 (名)	事故 (名)	現在員 (名)	事故の内訳 (名)	備 考
第10次要員	ジュバ (UNトンピン)	353	0	353		

宿營地待機人員

区 分	人員数
待機人員	

凡例 青字：不在者

活動の分析及び評価

項目		兆候上	発生する公算
情勢	宿营地	流れ弾	9/27, 28, 10/4, 6, 9, 10, 11, 16, 17 近傍での射撃（特に夜間）
	UNトンピン	反UNデモ	9/1 デモ（高官ゲート前及びジョンギャラン靈廟周辺） 9/2~5 安保理代表団来南スーダン（2, 3, 4層, 5朝ジュバ） 9/15 政府は安保理決議の原則受入承認 9/30 UNMISSとの協力へ大統領が舵取り 10/4 市民団体の地域保護部隊展開への反対
		流れ弾	7/11~昼間の発生なし
		疾病罹患・遺棄物での怪我	9/28 IDPの移送完了されるも天幕等残置
	UNハウス	反UNデモ	9/1 デモ（高官ゲート前及びジョンギャラン靈廟周辺） 9/4 政府は地域保護部隊の受入を承認 9/15 政府は安保理決議の原則受入承認 9/30 UNMISSとの協力へ大統領が舵取り 10/4 市民団体の地域保護部隊展開への反対
		IDPの流入又は侵入	
		流れ弾	
			10/4 WFZ (Weapon Free Zone : 非武装地域) の予行の実施
	#1 POCサイト	IDPとの小競合い（マシャル派、タバン派）への巻き込まれ	
	#3 POCサイト	IDPデモ	7/27 食糧と女性の権利要求デモ
		IDPとの小競合い（マシャル派、タバン派）	8/31 #3POCサイトでマシャル派による平和的デモ 9/17 SPLAのPOCサイトへの侵入
		疾病罹患	7/13 疾病による死者発生、死体放置

活動の分析及び評価

項目		兆候上	発生する公算
情勢	ジュバ市内	ハラスメント及び巻き込まれ	9/30 UNMISSとの協力へ大統領が舵取り 10/12 UNMISSの移動の自由の保証（大統領報道官） 10/12 タバン第1副大統領の帰国（米国） 10/12 大統領の顕在誇示による市民の不安の払拭 10/19 JMEC全体会議の開催
		反UNデモ	8/22 地域保護部隊に関する一定の譲歩、米からの資金援助 8/30 高官ゲートでUN介入反対の横断幕 9/1 デモ（高官ゲート前及びジョンギャラン靈廟周辺） 9/4 政府は地域保護部隊の受入を承認 9/15 政府は安保理決議の原則受入承認 9/27 制裁専門家パ礼報告 9/30 UNMISSとの協力へ大統領が舵取り 10/4 市民団体の地域保護部隊展開への反対
		流れ弾	9/22 夜間のムエ地区で10発以上の射撃
ジユバ～ ・マンガラ ・コダ ・マラム採掘場	戦闘への巻き込まれ		
		ハラスメント	
	武装強盗への巻き込まれ	-	

活動の分析及び評価

活動	敵の可能行動	兆候上	活動評価
宿营地活動	流れ弾		
UN トンピング活動	反UNデモ		
	流れ弾		
	疾病罹患・遺棄物での怪我		
UNハウス活動	反UNデモ		
	IDPの流入		
	流れ弾		
#1 POCサイト	IDPとの小競合への巻き込まれ		
#3 POCサイト	IDPデモ		
	IDPとの小競り合い		
	IDP内的小競合への巻き込まれ		
	疾病罹患		

活動の分析及び評価

活動	敵の可能行動	兆候上	活動評価
ジュバ市内の活動及び通行	ハラスメント及び巻き込まれ		
	反UNデモ		
	流れ弾		
ジュバ郊外活動 (ロコ、テニヤ、トリト、マンガラ)	戦闘への巻き込まれ		
	ハラスメント		
	武装強盗への巻き込まれ		

総 括

ジュバ市郊外での戦闘は小康状態にあるものの、

が発生しており注視が必要、また、での常続的かつ単発的な射撃の発生及び銃を携行したSPLA兵士が確認されるとともに、IDPが火器を保有している可能性は否定できず、巻き込まれ及び流れ弾が同地域周辺で発生する可能性が高い。

また、から逃れた

や、IDPとUNPOLとの間で小競合いが発生しており、IDPの対UNMISS感情の変化及びイエイ方向のSPLA-IDPの流入には注視が必要

加えて、ジュバ市郊外へ向かう検問所ではSPLAによる通行制限が継続中であり、移動の自由の撤廃に関する政府発言の履行に実効性は乏しいものと思料

さらに、ジュバ市内においては大統領の健在が示されたことで、市民の不安感は払拭されたものと思料され、パニック等に至る可能性は低いと見積もられるが、引き続き状況の変化に注視が必要

また、キール大統領が地域保護部隊の早期展開に協力的な姿勢を見せ始めたものの、市民団体は地域保護部隊の派遣に反対を示しており、対UN感情の変化には注視が必要

UNトンピン内においては、IDPの遺棄した不審物、疾病への罹患に引き続き注意が必要であるとともに、ジュバ西部及び南部の戦闘にも、マシャル氏がキール政権に対する抵抗を宣言したことから、注視が必要

総 括

43

別紙第7-6

評 価 (総括)	<ul style="list-style-type: none">・宿営地内及びUNトンピン内活動は、IDP移動完了に伴う道路整備等において、遺棄物等による怪我、疾病罹患に対する防護が必要・ジュバ市内の移動・活動は、空港・検問によるハラスマントの可能性があるものの、それ以外の地域におけるハラスマントの可能性は低く、各歩兵大隊のパトロール情報及び自隊の経路偵察により、市内状況を確認し、移動時間、移動経路・予備経路の指定など処置が必要・UNハウスにおける活動は、UNハウス西側・南側における射撃事案、流れ弾及びIDPによる投石の可能性があり、処置事項を実施することで活動可能であるが、UNハウス西側における活動は、最近の射撃事案発生個所に比較的近傍であるため、車両による防護準備が必要 <p>また、ジュバ西部及び南部の戦闘の状況及びUNハウス地区近傍における発砲状況によつては、前進時期、活動中止、宿営地への撤収等の統制が必要</p>
処置・対策	<p>IDPとの小競合い</p> <p>疾病罹患</p> <p>流れ弾対処</p> <p>IDPデモ対処</p> <p>SPLA等によるハラスマント</p> <p>戦闘への巻き込まれ</p>

明日の活動命令 (Operations)

- 1 施設活動等実施に関する活動命令
(方針・指導要領) (Policy & Guidance)
- 2 視察・来隊予定 (Schedules of visitors)
- 3 隊長・副隊長・CSMの行動予定
(CO/DCO/CSM Schedules)

10月20日施設活動等実施に関する南スーダン派遣施設隊活動命令

1 情勢報告参照

2(1) 隊は、急な情勢変化に対応しつつ、文民保護に資する活動としてUNハウス地区及びUNトニン地区内給水活動を実施するとともに、人道支援実施のための環境作りとして、UNハウス地区西側外壁構築・ケーブル埋設、弾薬庫増設及びUNトニン地区退避壕構築、英軍LOプレハブ構築を実施する。

この際、ジュバ市内におけるハラスマント及びジュバ西部・南部の戦闘に注視するとともに、UNハウス地区における流れ弾に留意して活動を実施する。

(2)ア 活動警備レベル（基準）

(ア) UNハウス地区

a ハウス西側外柵沿い レベル [REDACTED]

b ハウス南側弾薬庫地域 レベル [REDACTED]

(イ) UNトニン地区 レベル [REDACTED]

(ウ) ジュバ市内

a ジュバ空港 レベル [REDACTED]

b zone 1 (ジュバナバリ) レベル [REDACTED]

c zone 3 (ハイブルグ) レベル [REDACTED]

c zone 4 (ハイガハット) レベル [REDACTED]

d zone 5 (ハイシネマ) レベル [REDACTED]

e zone 6 (ハイカトールウェスト) レベル [REDACTED]

f zone 9 (ハイムヌキ) レベル [REDACTED]

イ 宿营地警備 [REDACTED]

3 (1) Eq Pt (施設器材小隊)

UNトンピン地区退避壕構築、状況により臨時工兵課タスクの実施

(2) 1 E P t (第1施設小隊)

UNトンピン地区英軍L O プレハブ構築

(3) 2 E P t (第2施設小隊)

UNハウス地区西側外壁構築及びケーブル埋設

(4) 3 E P t (第3施設小隊)

UNハウス地区弾薬庫増設及び輸送支援

(5) Sec Pt (警備小隊)

宿营地警備、同行警備及び [REDACTED]

(6) HQU (本部付隊)

宿营地維持・管理活動、UNトンピン地区内給水活動、輸送支援及び [REDACTED]

(7) MISec (情報班)

ジュバ市内及びUNトンピン地区における情報収集

(8) Guard Sec (警護班)

隊長警護

(9) MPSec (警務班)

重車両輸送支援及び [REDACTED]

4 本職不在間は、副隊長が指揮

活動概要 (UNトンピン地区) (1/7)

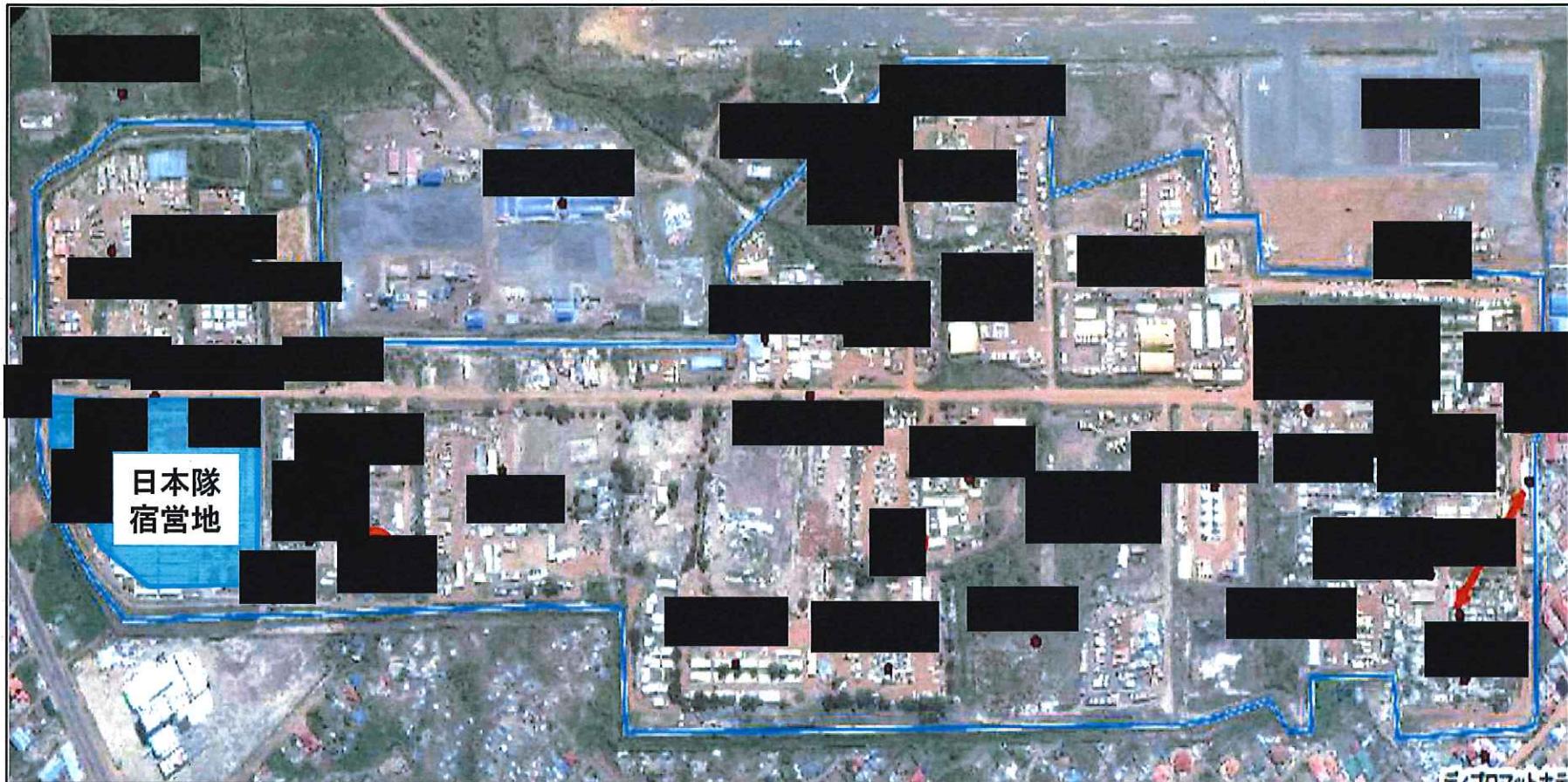
別紙第8-3

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員	車両	警備
①	施設	UNトンピン地区退避壕構築	器材小隊	0800～ 1600	UNトンピン内	24	高機×1、大型×1 油圧×1、特大型×2	
②		英軍LOプレハブ構築	1小隊	0800～ 1600	エチオピア 歩兵大隊北側	19	高機×2、大型×3	
③	その他	給水	補給班	0800～ 1000	トランジット ネパール歩兵中隊	2	給水車×1	
④	その他	給水	補給班	1000～ 1200	インド歩兵大隊	2	給水車×1	
⑤		業者迎え(井戸)	隊本部 (S-4)	0800～ 1700	メインゲート	2	小型×1	
⑥		業務調整(施設)	隊本部 (S-3)	0800～ 1600	工兵課	4	小型×1	
⑦		業務調整(通信)	隊本部 (S-3) 通信班	0930～ 1200	CITS及び TETRAOFFICE	3	中型×1	
⑧		業務調整(輸送)	隊本部 (S-4)	0900～ 1630	MOVCON	3	小型×1	
⑨		広報活動	隊本部 (広報)	0740～ 1600	UNトンピン内	2	小型×1	
⑩		情報収集	情報班		UNトンピン内			

凡例  UNタスク

活動概要（UNトンピン地区）（2／7）

別紙第8-4



9	広報活動
10	情報収集

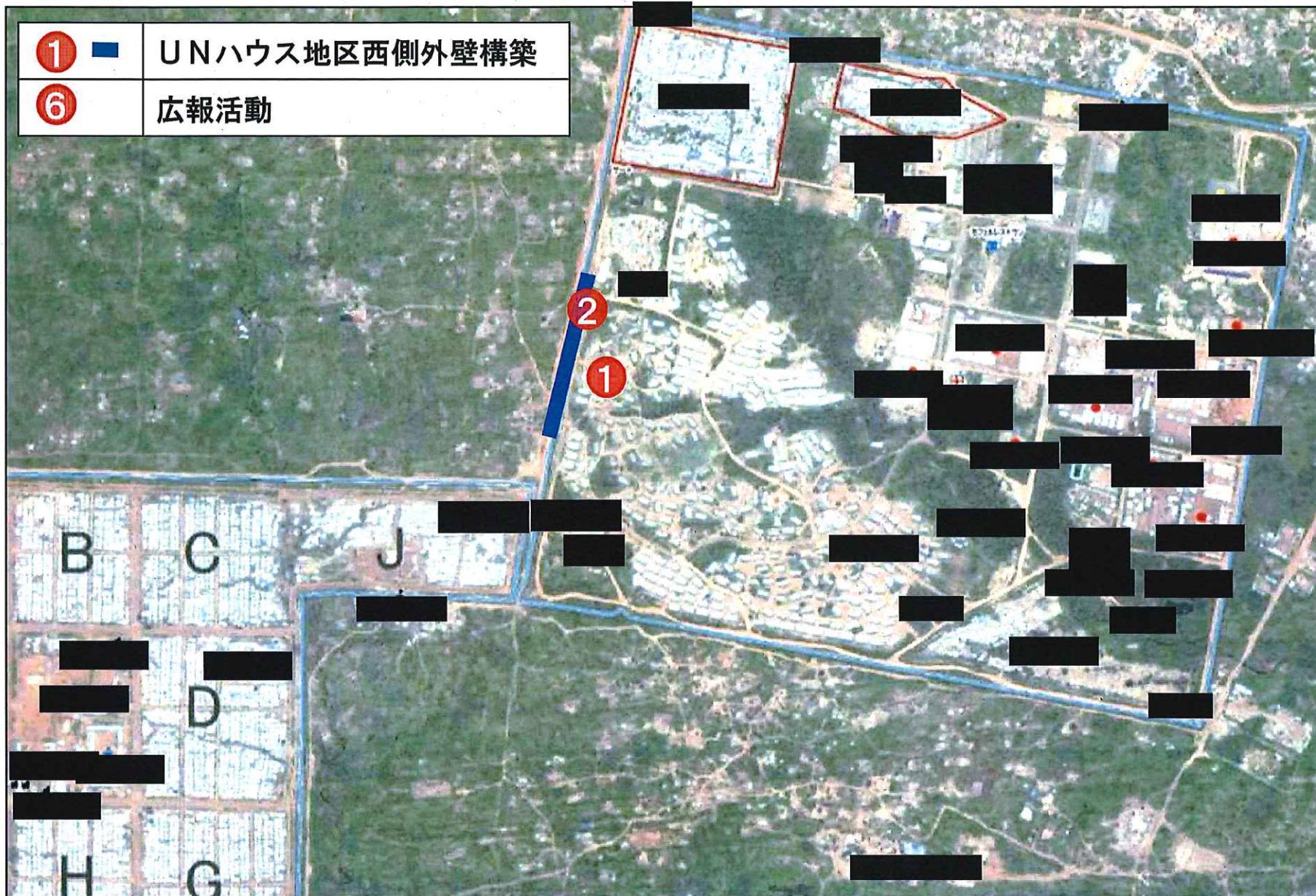
活動概要 (UNハウス地区) (3/7)

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員	車両	警備
①	施設	UNハウス地区西側外壁構築	2小隊	0745~ 1630	UNハウス西側	21	高機×3、大型×2 ※水、食糧1日分携行 ※ハウス1530前進開始	
②		UNハウス地区西側 ケーブル埋設						
③		UNハウス地区弾薬庫増設	3小隊	0746~ 1630	弾薬庫	19		
④		[REDACTED]	隊本部 (S-1) (S-3) 警備小隊	0744~ 1100	FHQ			
⑤	その他	業務調整(施設)	隊本部 (S-3)	0747~ 1400	UNハウス	3	高機×1	
⑥		広報活動	隊本部 (広報)	0744~ 1630	UNハウス	3	高機×1	
⑦		給水	補給班	0747~ 1200	ネパールFPU	2	給水車×1	

凡例 [REDACTED] UNタスク

活動概要（UNハウス地区）（4／7）

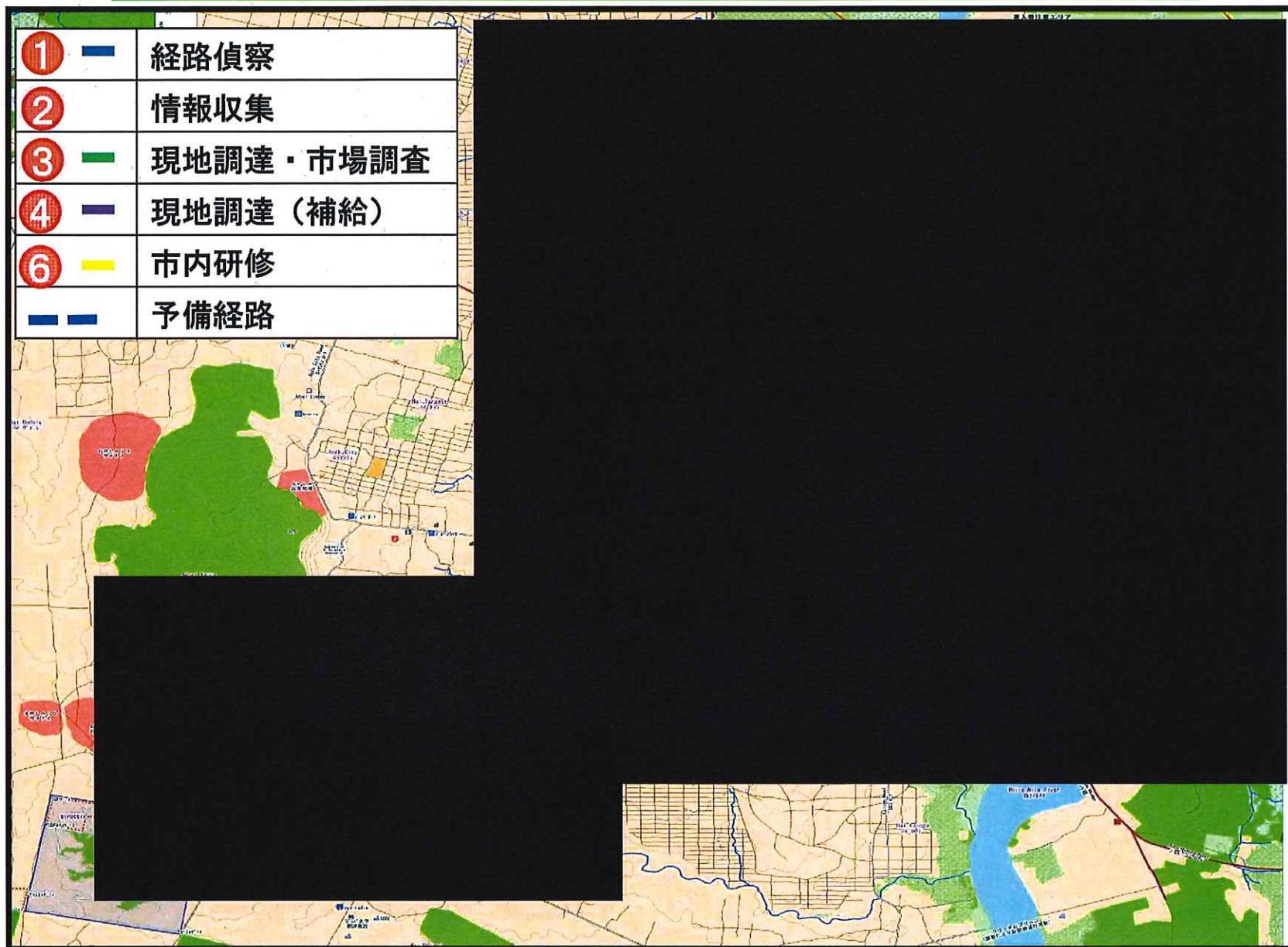
別紙第8-6



活動概要（ジュバ市内）（5／7）

番号	区分	任務	部隊	時間	場所	人員	車両	警備
①	情 報	経路偵察	隊本部 (S-2)		ジュバ市内			
②		情報収集	情報班		ジュバ市内			
③		現地調達・市場調査	隊本部 (S-4)	1300～ 1600	ジュバ市内	4	高機×1	
④	その他	現地調達（補給）	隊本部 (S-4)	1330～ 1600	取水点	3	高機×1	
⑤		国連休暇者送迎（8 Gp）	隊本部 (S-1) 付隊本部 3小隊	0740～ 1200	ジュバ空港	40	ランクル×1、大型×2	
⑥		市内研修 (Gpカウンセリング)	隊本部 (S-1)	1210～ 1530	ジュバ市内	10	ランクル×2	
⑦		重車両輸送支援	警務班	0740～ 1100	ビルファムロード	2	高機×1	

活動概要（ジュバ市内）（6／7）



UNハウス地区経路偵察（7／7）

凡 例

— 経路偵察



視察・来隊予定 (Schedules of visitors)

時 間	視察・来隊者	備 考
視察・来隊者等予定なし		

隊長、副隊長の行動予定

別紙第10-1

	AM	PM	課業外
隊長			
副隊長			

最先任上級曹長の行動予定

別紙第10-2

	AM	PM	課業外
最先任 上級 曹長			

3 じ後の予定

別紙第11「全般活動予定」

赤字：変化事項

10月 月間業務予定

別紙第11-1

青字：隊長活動
赤字：変化事項

週間活動予定（10/16～10/22）第45週

別紙第11-2

日	10/16	10/17	10/18	10/19	10/20	10/21	10/22
曜日	日	月	火	水	木	金	土
全般							
0700							
0800							
0900							
1000							
1100							
1200							
1300							
1400							
1500							
1600							
1700							
1800以降							
備考							

青字：隊長活動
赤字：変化事項

週間活動予定（10/23～10/29）第46週

別紙第11-3

日	10/23	10/24	10/25	10/26	10/27	10/28	10/29
曜日	日	月	火	水	木	金	土
全般							
0700							
0800							
0900							
1000							
1100							
1200							
1300							
1400							
1500							
1600							
1700							
1800以降							
備考							

4 情報共有事項

別紙第12「連携案件等情報」

連携案件等情報

1 形成中の案件

連番	区分	案件名	ニーズ元	現 状	調整先	調整状況・備考等	評価
1	ODA-PKO 連携案件	職業訓練 「#4さくらPJ」	MTC	実施困難	MTC JICA	<ul style="list-style-type: none"> ・10/1 JICA南スーダン事務所長交代 (ウガンダ事務所長兼任) ・10月中に東京JICA南スーダン事務所のウガンダ移転完了予定も年内の南スーダンへの復帰見込みなし ・現在のUNMISSの活動の焦点・他業務予定を考慮すると実施困難 	
		フリーダムブリッジにおける作業支援	JICA 大日本土木	CRFにおいて実施の可否を検討中	CRF JICA	CRFにおいて実施の可否を検討中	
2	国際機関等連携案件	UNOPS水質調査支援 (日本補正予算によるボル河川港建設PJに伴う水質調査の依頼)	UNOPS (大使館)	工兵課からタスク発出済み	UNOPS (※) (大使館)	当初予定されていたボル河川港建設準備のための事前水質調査については別機関により実施済み。ただし、建設中・後で引き続き水質調査が必要になることが見込まれるため、支援依頼については引き続き継続	
		UNハビタット (日本政府予算によるワウ・ジュバにおける居住環境整備事業)	UN ハビタット (大使館)	大使館から連携の可能性検討再開の打診あり	UN ハビタット (大使館)	<ul style="list-style-type: none"> ・7/25に隊への事業内容に関する説明、隊から先方への治安上実施困難である旨、連携には工兵課の承認を得るための先方からのリクエストが必要である旨通報済み ・UNハビタットは、7月衝突事案以降中断していた施設隊との連携に向けた調整を再開したいとの意志あり ・UNハビタット側から、施設隊との連携実現のためのUNMISSレベル(DSRSG)への打ち込みを実施予定 ・10/21に、担当者から大使館・隊担当への説明予定 	

※ UN Office for Project Services : 国連プロジェクト・サービス機関)

赤字 : 变化事項

凡 例 ◎： タスク化成立 ○： 自隊による実施 ×： 実行の可能性低 一： 調整中

2 終了案件

連番	区分	案件名	ニーズ元	概 要	実施時期
	ODA-PKO 連携案件	なし			
	国際機関等 連携案件	なし			

5 參考資料

気象(19~20日) ジュバ/Weather JUBA

最高気温(1400
まで反映)

	気温(直射)	気温(日陰)	湿度	総雨量
	41°C	38°C	31%	0mm



日(曜) Date	19日(水)		20日(木)					
時 Hrs	18~21	21~24	0~3	3~6	6~9	9~12	12~15	15~18
主要な活動						市内研修		
Juba	天 气							
	気温(°C)	30	25	24	22	30	36	39
	体感気温(°C)	33	26	25	22	31	39	41
	降水確率	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
	雨 量	0mm	0mm	0mm	0mm	0mm	0mm	0mm
	風 向	北東	北	西南西	南西	南	南東	南南東
	風 速	2	1	1	0	1	2	2
評価	施設活動							
Assesment	行 事							

凡例 影響度： 問題なし < 一部制限 < 実施困難

資料源：WORLD WEATHER ONLINE

気象(週間) ジュバ/Weekly Weather JUBA

日(曜)	21日(金)	22日(土)	23日(日)	24日(月)	25日(火)
主要な活動	市内研修 UNの基盤整備	孤児院慰問 UNの基盤整備			ウガンダ出張 UNの基盤整備
			国連休暇(8Gp)		
Juba	天 气				
	気温(°C)	40/22	39/23	37/24	36/23
	降水確率	70%	60%	80%	40%
	雨 量	2mm	1mm	7mm	1mm
	評 値				
Kampala	天 气				
	気温(°C)	30/14	32/15	30/16	31/17
	降水確率	20%	90%	90%	90%
	雨 量	0mm	4mm	4mm	6mm
	評 値				

凡例 影響度： 問題なし < 一部制限 < 実施困難

資料源：WORLD WEATHER ONLINE

評 値 Assessment	1 ジュバは週を通して局所的な降雨が予想され、一時的に施設作業に影響を及ぼす可能性があり、注意が必要
	2 ウガンダは天候が不安定である模様。局所的な雨に注意

政府樹立までの主要結節／Process of Peace Agreement

区分	4月	5~6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	評価
全般	29 29		8 11 16	5 12 15 18	13~28 21 30	17 19	12	15	
停戦			11 停戦合意	散発的な戦闘	23 武力抵抗宣言				
外国軍撤退			ジュバ市内におけるウガンダ軍展開（自国民保護）	AU					
軍 ジュバ非武装化			29 外国軍受入拒否 1 外国軍受入容認 5 UNMISSシテー する反発 13 16 4 RPF承認	I G A D	J M E C主催の暫定連絡会議	UNMISSによるマンデート延長に関する特別報告	UNMISSによるマンデート実施状況の報告	UNMISSによるマンデート期限	
統合	第1回暫定政府樹立		IO撤退 AU総会	IGAD UNMISS I G A D 平和・安全	第71回国連総会	J M E C全体会議			
議会の大			4 議長選出 特別議会 15~ 暫定議会	IGAD 参謀総長会議 保障会議 実施状況等の報告	IGAD 参謀総長会議 保障会議 実施状況等の報告	パネル報告			
政府樹立			閣僚の一方的な罷免 SPLA-IO 内部分裂 25 新V P任命 3 閣僚交代	会議 修正・更新	IGAD 参謀総長会議 保障会議 実施状況等の報告	IGAD 参謀総長会議 保障会議 実施状況等の報告			
選挙				17 2年倒					
憲法修正									

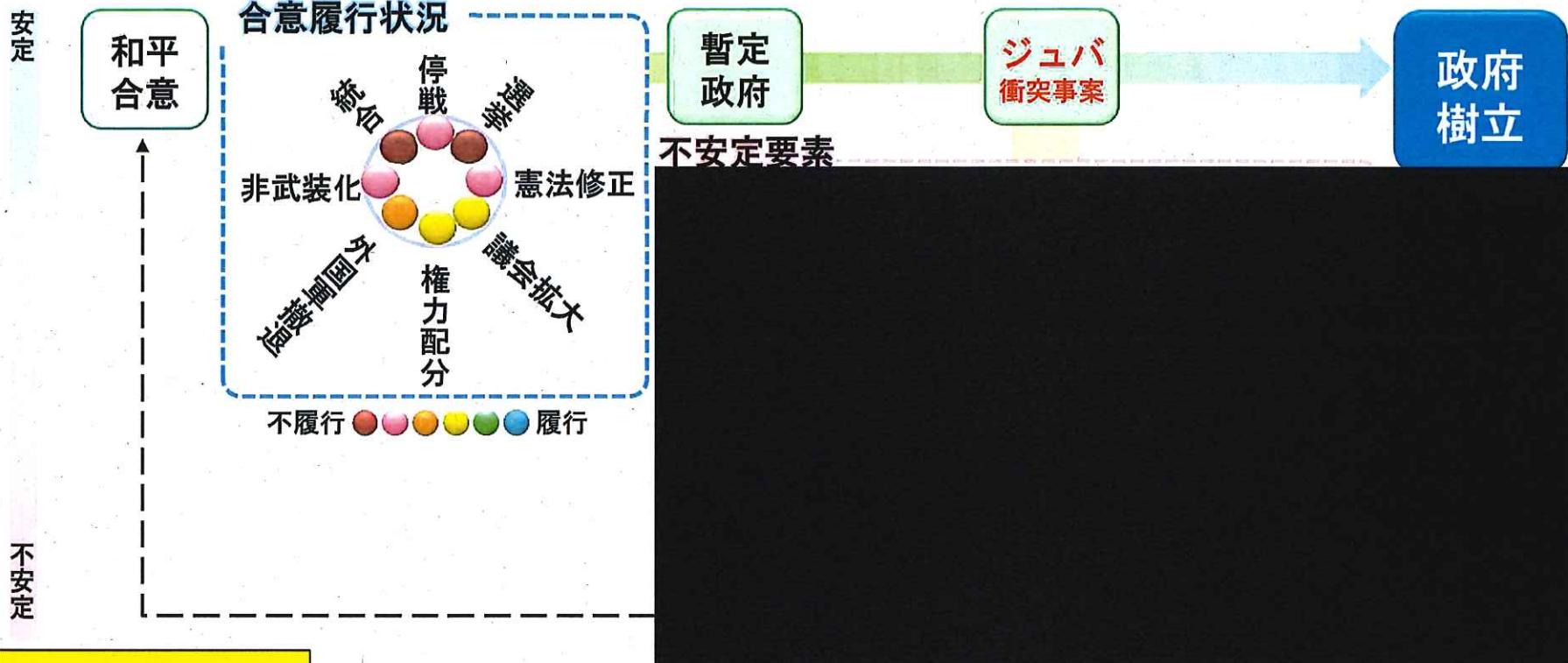
評価 和平合意については、J M E Cによる暫定治安措置に関するワークショップが終了し、キール大統領が安保理決議、特に治安及びUNMISSの移動の自由の確保に関して協力的な姿勢を示したことから、進展するものと思料。一方で、マーシャル派SPLM-IOによるキール政権打倒のための武力抵抗の表明やジョングレイ州における南スーダン民主運動コブラ派高官等の離反表明に同調する勢力による和平合意の妨害・遅延には注視が必要。

予想シナリオと我に及ぼす影響／Expected Scenario & Effects

2015.8

2016.7

2018



我に及ぼす影響

関係悪化モデル

- ジュバでの衝突激化に伴うUN活動の停止
- 武力衝突・██████████に伴う、活動の制限による負傷者発生
- ジュバ市内での大量のIDPの発生
- チェックポイント警戒強化(我の移動制限)
- ウガンダからの物流の停止

和平成立モデル

- 治安改善に伴うUNマンデートの変更
- 少数派による新体制批判デモ
- 非武装化に伴う、市内犯罪の増加
- SPLAと地元住民との係争
- 統合された治安部隊の部族間相互の意見相違による係争

セクターサウス内部状況（2016年10月18日現在）

68



エチオピア 歩兵大隊 I (本部: ジュバ)	ルワンダ 歩兵大隊 I (本部: ジュバ) 航空部隊 (本部: ジュバ)	日本 施設部隊 (約350名: 本部: ジュバ)	インド 歩兵大隊 II (本部: ジュバ)
ネパール 歩兵大隊 II (本部: ジュバ)		バングラデシュ 施設部隊 (本部: ジュバ) 河川部隊 (本部: ジュバ)	エチオピア 歩兵大隊 II (本部: ジュバ)
中国 歩兵大隊 (本部: ジュバ)		カンボジア 憲兵隊: (本部: ジュバ) 医療部隊: (本部: ジュバ)	□ = 増派部隊 □ = 後方支援部隊

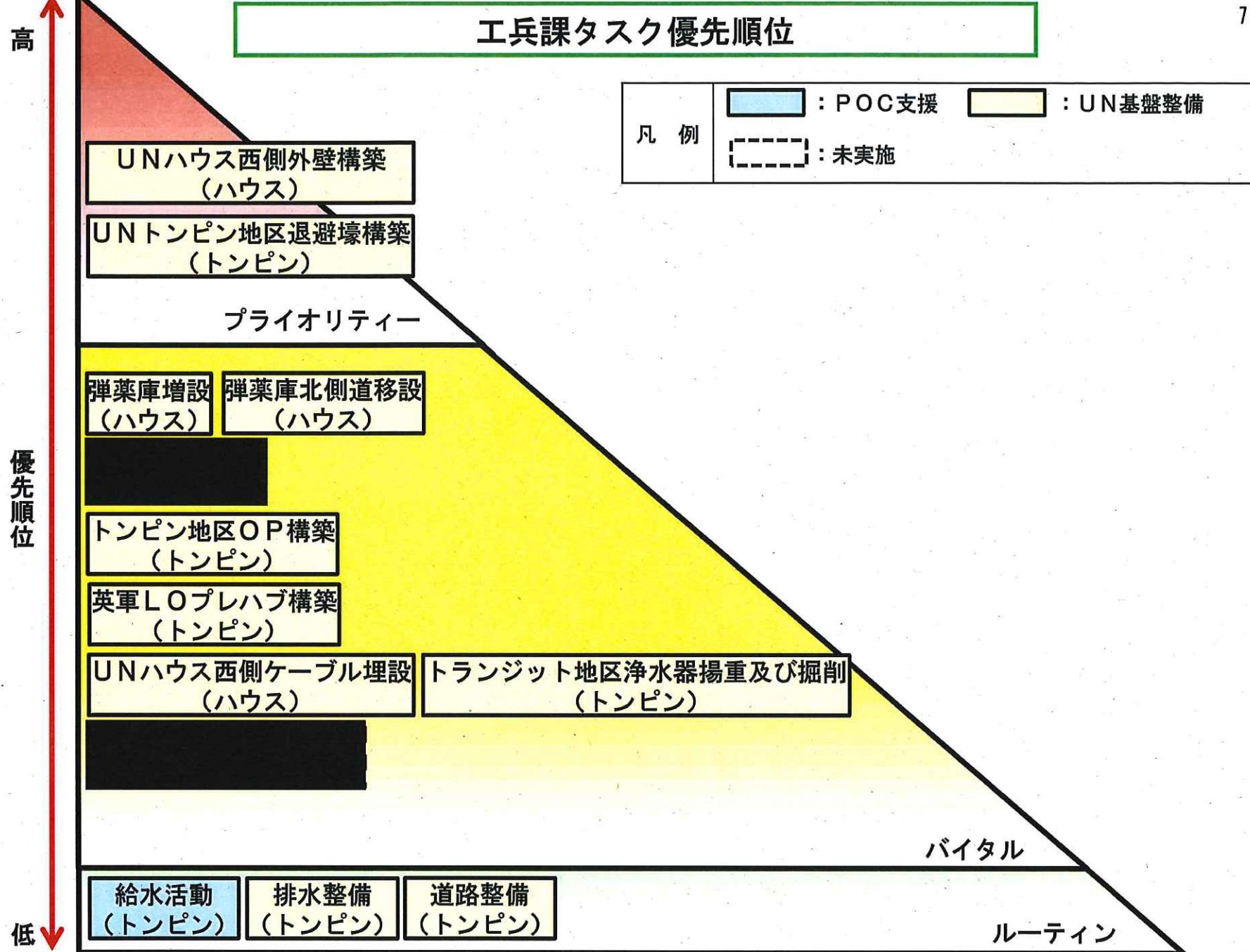
人員現況（第10次要員）

69

28.10.19
1800c

場所	部隊	総員	内訳			現在員	事故	理由
			幹部 (O)	准曹 (WS)	陸士 (P)			
ジュバ	隊本部							
	付隊本部							
	隊本部班							
	整備班							
	補給班							
	通信班							
	衛生班							
	營繕班							
	施設器材小隊							
	第1施設小隊							
	第2施設小隊							
	第3施設小隊							
	警備小隊							
	情報班							
	警護班							
	派遣警務班							
合計		353	65	252	36	353		

工兵課タスク優先順位



10月19日タスク等現況（1／2）

71

凡 例 : POC支援 : インフラ整備 : UN基盤整備 : 國際機関等連携案件

1 実施中

タスク No	活動区分	優先 順位	作業名	作業場所	作業内容	本日現在の 進捗状況	開始 時期	終了 時期	昼食の 形態	備 考
487	UN 基盤整備	1	UNハウス 西側外壁構築	UNハウス	ミフラン構築	実施 計画				
492	UN 基盤整備	2	UNトンピン地区 退避壕構築	UNトンピン	退避壕構築	設計基準変更につき工程修正中				
470	UN 基盤整備	3	弾薬庫北側道路移設	UNハウス	道路移設	実施 計画				マラム待ち
469	UN 基盤整備	4	弾薬庫増設	UNハウス	ヘスコ増設 外柵構築	実施 計画				
476	UN 基盤整備	5	トンピン地区OP構築	UNトンピン	ヘスコ構築 屋根構築	実施 計画				工兵課の指示 待ち
503	UN 基盤整備	6	英軍LOプレハブ構築	UNトンピン	プレハブ構築	増設に伴い工程修正中				
505	UN 基盤整備	7	トランジット地区 浄水器揚重及び掘削	UNトンピン	揚重及び掘削	実施 計画				工兵課の指示 待ち
504	UN 基盤整備	8	UNハウス西側 ケーブル埋設	UNハウス	ケーブル埋設	実施 計画				
325	POC 支援	9	給水活動	UNトンピン	給 水					
471	UN 基盤整備	10	排水整備	UNトンピン	排 水					
459	UN 基盤整備	11	道路整備	UNトンピン	道路整備					

10月19日タスク等現況 (2/2)

凡例 : UN基盤整備

2 未実施

タスクNo	活動区分	優先順位	作業名	作業場所	作業内容	本日現在の進捗状況	開始時期	終了時期	昼食の形態	備考
456	UN基盤整備			UNトンピン						
500	UN基盤整備			ジュバ市内						

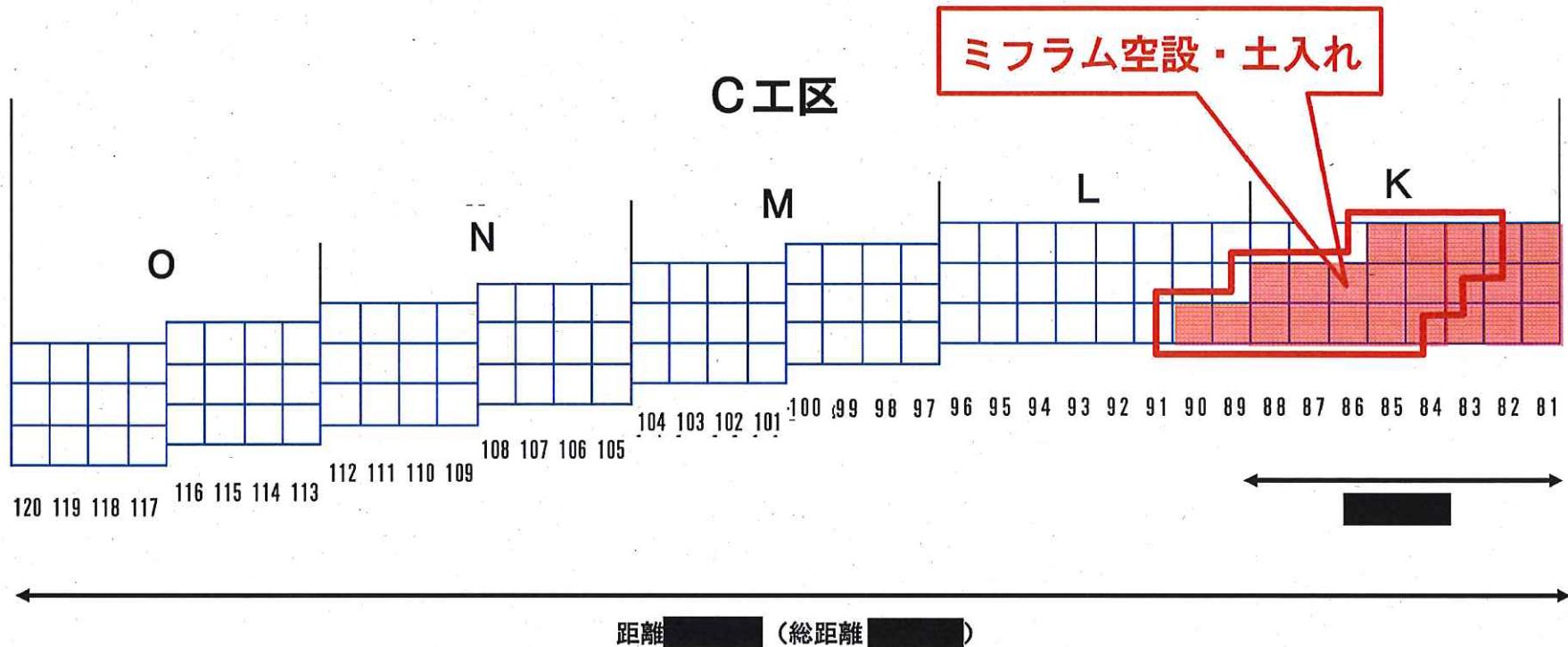
タスク累計受領数(完了数)		タスク実施数(第10次要員)	
		プライオリティー	14
		バイタル	65
		ルーティン	3
		計	82
505 (489)		完了	69
		実施中	11
		未実施	2

UNハウス西側外壁構築全体図



UNハウス西側外壁構築 (10月19日現在)

74



凡例

■ ミフラム設置

□ 空ミフラム設置箇所

□ 本日作業箇所

成果

ミフラム設置

※ 赤字：作業完了により変更部分

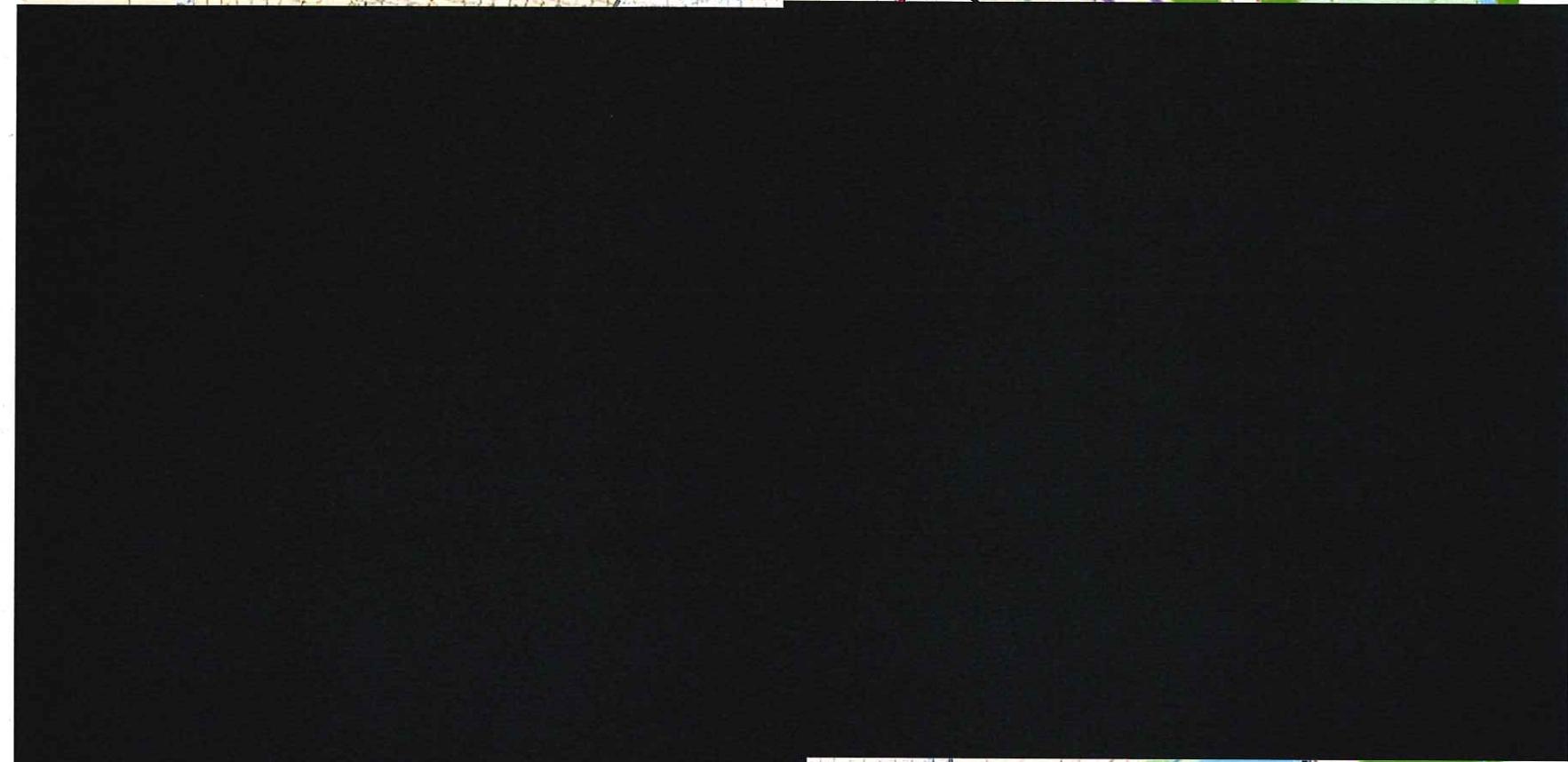
UNハウス弾薬庫増設（10月19日現在）

75

地域脅威レベル評価（10月19日）

76

2016.10.18



レ

隊員服装・装備等基準

77

区分	警備小隊	経路偵察に任する部隊	活動部隊 (警備、経路偵察除く。)
備考			

警備の態勢 () (10月19日1700現在)

活動写真

UNタスク (UNトンピン)



英軍L Oプレハブ構築
(第1施設小隊)

UNタスク (UNハウス)



UNハウス西側ケーブル埋設
(第2施設小隊)

UNタスク (UNハウス)



UNハウス地区弾薬庫増設
(第3施設小隊)

UNタスク (UNハウス)



同行器材整備
(本部付隊)